

VIII 文化財保護

1. 有形文化財

(1) 建造物

① 国指定重要文化財(建造物)「銘苅家住宅ほか2棟」保存修理事業

事業種別 : 国庫補助事業
 事業主体 : 沖縄県
 事業の目的 : 重要文化財の適正な保存を図る。
 事業内容 : 経年による腐朽の著しい主屋屋根の葺き替え及び石牆の保存修理事業を行った。石牆工事事業は、平成23年度に行う予定。
 事業費総額 : 21,400千円

| | 平成22年度 |
|-------|----------|
| 村負担額 | 4,066千円 |
| 県補助額 | 214千円 |
| 国庫補助額 | 17,120千円 |
| 合計 | 21,400千円 |

② 国指定重要文化財(建造物)「新垣家住宅ほか6棟」保存修理事業

事業種別 : 国庫補助事業
 事業主体 : 新垣徹児ほか10名
 事業の目的 : 重要文化財の適正な保存を図る。
 事業内容 : 平成21年度解体格納調査事業に引き続き、主屋や離れ、作業場等の保存修理事業を行った。
 事業費総額 : 48,700千円

| | 平成22年度 |
|-------|----------|
| 市負担額 | 3,653千円 |
| 県補助額 | 3,652千円 |
| 国庫補助額 | 41,395千円 |
| 合計 | 48,700千円 |

③ 竹富町竹富島重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業

事業種別 : 国庫補助事業
 事業主体 : 竹富町
 事業の目的 : 伝統的建造物群の適正な保存を図る。
 事業内容 : 下記保存物件の保存修理事業
 こぼし文庫の瓦屋根、柱、桁、小屋組、床基礎等の取替及び蟻害対策
 事業費総額 : 2,677千円

| | 平成22年度 | 昭和62年度～平成22年度 |
|-------|---------|---------------|
| 町負担額 | 440千円 | 50,683千円 |
| 県補助額 | 96千円 | 42,761千円 |
| 国庫補助額 | 2,141千円 | 360,538千円 |
| 合計 | 2,677千円 | 453,982千円 |

④ 渡名喜村渡名喜島重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業

事業種別 : 国庫補助事業
 事業主体 : 渡名喜村
 事業の目的 : 伝統的建造物群の適正な保存を図る。
 事業内容 : 下記の主屋の解体修理及び石垣の修景事業
 1. 南風原稔家住宅主屋の保存修理
 2. 桃原秀幸家住宅附属舎の屋根、外壁等の修景事業
 事業費総額 : 8,138千円

| | 平成22年度 | 平成12年度～平成22年度 |
|-------|---------|---------------|
| 村負担額 | 1,325千円 | 35,797千円 |
| 県補助額 | 303千円 | 31,750千円 |
| 国庫補助額 | 6,510千円 | 331,966千円 |
| 合計 | 8,138千円 | 399,513千円 |

(2)美術工芸

①沖縄のガラス・玉等製品関係資料調査（史料調査）

事業総額：3,580千円（国2,864千円、県716千円）

事業種別：国庫補助事業

事業主体：沖縄県

調査期間：平成22年4月1日～平成23年3月31日

調査目的：琉球王国時代のガラス・玉等製品は製作年代を特定するのは難しく、製作場所や技法についても不明な点が多い。しかし、ガラス・玉等製品は行事や祭祀の時に使用される特別なものであり、琉球王国時代の美意識を伝える重要な資料である。

ガラス・玉等製品の多くは琉球処分後のノロ制度廃止により散逸し、さらに沖縄戦によって消失した。戦前・戦後にかけて失われていく信仰の形態として、民俗調査としてのノロ調査はあっても、その道具として使用される勾玉や玉かはらの調査は行われなかった。そのため、ガラス・玉等製品の散逸は更に進行していく恐れがある。

本調査では、県内外に現存する琉球関連のガラス・玉等製品の悉皆調査を行うことで所在状況を把握し、今後の基礎資料とする。

事業概要：平成20～21年度の調査で、調査地から漏れたところ。または、補足調査が必要と思われる施設・個人所蔵品について調査を実施する。調査終了後は200p、白黒の報告書を作成した。

調査員：久保 智康（京都国立博物館学芸課工芸室長）

早川 泰弘（東京文化財研究所 保存修復科学センター分析科学研究室長）

宮里 正子（沖縄県立芸術大学非常勤講師）

仲原 弘哲（今帰仁村歴史文化センター館長）

津波古 聰（財団法人沖縄県文化振興会 史料編集室主幹）

上江洲 安亨（財団法人海洋博覧会記念公園管理財団
首里城公園管理センター事業部主査）

稲福 政斉（うるま市・宜野座村・中城村文化財保護審議会委員）

平尾 良光（別府大学 教授）

協力者：岸本 竹美（沖縄県立埋蔵文化財センター嘱託職員）

事務局：早瀬 千明（沖縄県教育庁文化課専門員）

②在外沖縄関連文化財調査

事業総額：710千円

事業種別：県単独事業

事業主体：沖縄県

調査期間：平成22年4月1日～平成23年3月31日

調査目的：沖縄文化の体系化するための基礎資料を作成することを目的に、中国・アジア地域における沖縄関連文化財資料の所在確認調査を実施。

事業概要：平成22年度は福建省を中心とした中国各地の所在調査を実施した。

事務局：萩尾 俊章（沖縄県教育庁文化課文化財班長）

早瀬 千明（沖縄県教育庁文化課文化財班専門員）

③琉球国王尚家関係資料修復

事業総額：17,012千円（国13,600千円、県250千円、市3,162千円）

事業種別：国庫補助事業

事業主体：那覇市

修復期間：平成22年5月25日～平成23年3月31日

修復目的：琉球国王尚家関係資料とは、1995年～1996年に那覇市に寄贈された文書

類1,341件、美術工芸品85件をいう。その中から、尚家の個人資料や現代資料を除いた1,166件の尚家文書、並びに85件の美術工芸品が2006年に国宝として指定された。これらの資料は沖縄戦で多くの文化遺産を失った沖縄にとって、近世琉球期の政治・経済・文化、あらゆる面の解明に役立つ、重要な資料群である。

尚家文書は、1995年に寄贈を受けて以来、調査・展示、マイクロ撮影等を行ってきたが、膨大な資料群の中には破損状態がひどく、展示公開に耐えられない状態のものも多く、また内容調査のためにマイクロ撮影を行うにも頁を開くことさえ難しい状態のものも少なくない。さらに王国解体後は東京に持ち運び保管してきた尚家で修理・合本などの手が加えられたものも多数あり、修復知識のない状況で行われた修理が、現在では資料自体に悪影響を及ぼしているものも見受けられる。

早急に修理・補修を行い、広く展示・公開しなければならないが、文書点数が多いため、損傷状態の診断を行い、より劣悪な状態のものから優先的に修復する方針で、12年計画で実施する。

事業概要：本年度は文書一点ずつの損傷状態の診断(特A→A→B等)を行い、優先順位を特定した。その診断に基づいて傷みの激しい文書(特Aクラス)を中心に、変更申請後26冊の修理を行った。

実施体制：文化庁の保存修復方針、国宝修理装演師連盟に委託し、九州国立博物館内の修復工房で修復し、修復後は九州国立博物館で一般公開を行った。

(3) 銃砲刀剣類の登録

① 沖縄県銃砲刀剣類登録審査委員

* 沖縄県教育委員会委嘱（任期平成22年4月9日～平成24年3月31日）

今野 春吉（刀剣研究家）

大嶺 信義（刀剣研究家）

上原 正人（刀剣研究家）

② 登録審査会

日 時：平成23年3月16日（水） 14：00～17：00

場 所：沖縄県立埋蔵文化財センター 会議室

審査件数：11件（内訳：刀10、やり1）

登録証交付件数：5件（内訳：刀4、やり1）

登録証再交付申請：6件（内訳：刀6）

③ 登録申請件数及び登録件数

| 区 分 | 種 別 | 申請件数 | 登録件数 | 備 考 |
|------|--------|------|------|-----|
| 刀 剣 | た ち | 0 | 0 | |
| | 刀 | 5 | 5 | |
| | 脇 差 し | 0 | 0 | |
| | 短 刀 | 0 | 0 | |
| | や り | 1 | 1 | |
| 古式銃砲 | 火 縄 銃 | 0 | 0 | |
| | その他の古式 | 0 | 0 | |
| 合 計 | | 6 | 6 | |

④ 証紙出納実績

| | 審査件数 | 登録審査手数料 | 出納実績 | 備 考 |
|-------------|------|----------|---------|-----|
| 審査手数料（新規登録） | 6 | 6,300円/件 | 37,800円 | |
| 審査手数料（再交付） | 5 | 3,500円/件 | 17,500円 | |
| 制作承認手数料 | 0 | 800円/件 | 0円 | |
| 合 計 | 11 | | 55,300円 | |

⑤ 登録を受けた銃砲または刀剣類の譲受け・相続などの届出件数

| 種 別 | 銃砲など | 刀剣類 | 計 |
|---------|------|-----|-----|
| 譲り受け | 0 | 6 | 6 |
| 相 続 | 0 | 5 | 5 |
| 貸 付 け | 0 | 0 | 0 |
| 保管の委託 | 0 | 0 | 0 |
| （ 発見届 ） | （0） | （6） | （6） |
| 合 計 | 0 | 12 | 12 |

2. 無形文化財

(1) 芸 能

①重要無形文化財「組踊」伝承者養成事業

事業総額:10,403千円(国8,676千円、県310千円、保存会1,417千円)

実施方法:国・県補助による伝統組踊保存会直営事業(会長:島袋光晴)

事業内容:伝承者養成研修を実施し、研修成果の発表会を前期、後期に分けて行った。

事業期間:平成22年4月1日～平成23年3月31日

研修発表会:期日、内容、配役等は下記のとおり。

【前期】平成22年9月5日(日) 国立劇場おきなわ 14時開演

1) 古典音楽斉唱 天川節・仲順節

[歌三線]照喜名進 仲嶺伸吾 上間宏敏 糸数一雄 渡名喜康広 小嶺長則 銘苺盛隆
島袋功 糸数昌治 吉元博昌 新地孝一 上間克美 池原憲彦 大湾朝重
宮原弘和 末吉政利 前原信喜 新城治 金城光信 仲順利治 高江洲昌市
宮城厚博 金良宗吉 城間盛久 下茂門勝 島袋盛一 渡久山英男 金城清一
勝連繁雄 瑞慶覧長仁 濱元盛爾 瑞慶覧朝孝 宮里敏則 上地正隆
照喜名朝国 中村昌光 仲宗根盛次 新城雄一 砂辺孝真 玉城利和 山城充幸
金城幸浩 金城善雄 大城次男 新垣俊道 中村逸夫 玉城和樹 崎濱秀貴
稲嶺盛律 田港朝弘 平良薫 比嘉謙次 石川親助

[箏]島袋八重子 玉城弥生 仲嶺貞夫 赤嶺和子 上地七重 宮里秀明 屋嘉比桂子
大城幸枝 名嘉ヨシ子 神谷和枝 米須幸子 山田和子 美里登喜子 比嘉玲子
平良マサエ 久貝栄喜 池間北斗 山城真理子 仲松恒子

[笛]大城聖 真地利尚

[胡弓]照屋健 祖堅信義

2) 組踊「萬歳敵討」

[指 導]立方:比嘉良雄 地謡:知花和秀

箏:上地尚子 笛:嘉数世勲 胡弓:銘苺春政 太鼓:喜舎場盛勝

[配 役]謝名の子(石川直也) 慶雲(宮城昭博) 高平良御鎖(宮里徹雄)

同人・妻(岸本剛) 同人・娘(具志幸大) 列女1(大城常正)

列女2(糸満盛幸) 供1(山里啓貴) 供2(名嘉正光)

道行人(前當正雄) きゃうちゃこ持(宮里光也)

[地 謡]歌三線:下茂門勝・池原憲彦・末吉政利・金城清一・稲嶺盛律・田港朝弘

箏:上地七重・山城真理子 笛:中村昌成・大城聖

胡弓:又吉真也・祖堅信義 太鼓:天久祥

3) 組踊「銘苺子」

[指 導]立方:海勢頭あける 歌三線:照屋勝義

箏:安里ヒロ子 笛:知念久光 胡弓:新城清弘 太鼓:宇座嘉憲

[配 役]銘苺子(嘉数道彦) 天女(佐辺良和) 思鶴(赤嶺侑希乃)

亀千代(長嶺龍) 上使(海勢頭秀光) 供一(金城啓一郎) 供二(当山力)
きやうちやこ持(比嘉吉保) 後見(友寄隆乃進)

〔地謡〕歌三線:小嶺長則・新地孝一・金城光信・平良薫・比嘉謙次・石川親助
箏:大城幸枝・仲松恒子 笛:崎原盛次・真地尚利
胡弓:崎原盛勇・照屋健 太鼓:奥間政仁

【後期】平成22年12月5日(日) 国立劇場おきなわ 14時開演

1) 古典音楽斉唱 かぎやで風節・恩納節・ご縁節

〔歌三線〕照喜名進 仲嶺伸吾・上間宏敏 糸数一雄 渡名喜康広 小嶺長則 銘苺盛隆
島袋功 糸数昌治 吉元博昌 新地孝一 上間克美 池原憲彦 大湾朝重
宮原弘和 末吉政利 前原信喜 新城治 金城光信 仲順利治 高江洲昌市
宮城厚博 金良宗吉 城間盛久 下茂門勝 島袋盛一 渡久山英男 金城清一
勝連繁雄 瑞慶覧長仁 濱元盛爾 瑞慶覧朝孝 宮里敏則 上地正隆
照喜名朝国 中村昌光 仲宗根盛次 新城雄一 砂辺孝真 玉城利和 山城充幸
金城幸浩 金城善雄 大城次男 新垣俊道 中村逸夫 玉城和樹 崎濱秀貴
上原睦三 国吉啓介 謝敷アンヘル

〔箏〕島袋八重子 玉城弥生 仲嶺貞夫 赤嶺和子 上地七重 宮里秀明 屋嘉比桂子
大城幸枝 名嘉ヨシ子 神谷和枝 米須幸子 山田和子 美里登喜子 比嘉玲子
平良マサエ 桃原和枝 久貝栄喜 池間北斗

2) 組踊「護佐丸敵討」

〔指導〕立方:眞境名正憲 歌三線:岸本吉雄 箏:山内照子
笛:大湾清之 胡弓:山内秀雄 太鼓:喜舎場盛勝

〔配役〕あまおえ(平田智之) 鶴松(宮城茂雄) 亀千代(金城真次)
母(大湾三瑠) 供一(友寄隆乃進) 供二(上江洲勝) 供三(山入端實)
きやうちやこ持(名嘉正光)

〔地謡〕歌三線:仲嶺伸吾・濱元盛爾・瑞慶覧長仁・照喜名朝国・玉城和樹・上原睦三
箏:山田和子・米須好子 笛:我那覇常充・宮城英夫
胡弓:川平賀道・嶺井敦弘 太鼓:神山常夫

3) 組踊「手水の縁」

〔指導〕立方:嘉手苺林一 歌三線:大城米雄 箏:宮城秀子
笛:宇保英明 胡弓:新城清弘 太鼓:宇座嘉憲

〔配役〕山戸(東江裕吉) 玉津(新垣悟) 志喜屋の大屋子(川満香多)
山口の西掟(呉屋智) 門番(仲村圭央) 後見(池間隼人)

〔地謡〕歌三線:前原信喜・新城治・新城雄一・山城充幸・国吉啓介・謝敷アンヘル
箏:玉城弥生・宮城泰子 笛:喜舎場孫好・喜友名隆
胡弓:宇江城栄・榮野元弘 太鼓:福原敬

②重要無形文化財「琉球舞踊」伝承者養成事業

事業総額:6,416千円(国6,000千円、県310千円、保存会106千円)

実施方法:国補助による琉球舞踊保存会直営事業(会長:玉城節子)

事業内容:伝承者養成研修を実施し、研修成果の発表会を行った。

事業期間:平成22年4月1日～平成23年3月31日

研修発表会:期日、内容等は下記のとおり。

平成23年2月26日(土) 昼の部 国立劇場おきなわ 13時開演

1)舞踊「かぎやで風」

安次富紀子 池原勝子 玉城静枝 山田多津子 嘉数紀美子 島袋恵美子 高江洲清勝
玉城千枝 眞境名結子 渡久地美代子 古謝弘子 花岡勝子 比嘉美好 比嘉涼子
又吉世子 我那覇則子

歌三線:伝承者全員

箏:赤嶺和子 城間安子 笛:宇保英明 胡弓:銘苺春政 太鼓:比嘉聰

2)舞踊「作田」 宮城能造

歌三振:前川朝文 中村一雄 首里良三 前原信喜

箏:山内照子 笛:宇保英明 胡弓:銘苺春政

3)舞踊「瓦屋節」 大城和子

歌三振:前川朝文 中村一雄 首里良三 前原信喜

箏:安慶名久美子 笛:我那覇常充 胡弓:新城清弘

4)舞踊「浜千鳥」 船越節子

歌三振:糸数善昭 下茂門勝 大湾朝重 渡久山英男

箏:上地七重 笛:我那覇常充 胡弓:新城清弘 太鼓:比嘉聰

5)舞踊「加那ヨ一」 平八重子

歌三振:照喜名進 照喜名朝國 照喜名朝之 金城力

箏:赤嶺和子 笛:宇保英明 胡弓:銘苺春政 太鼓:比嘉聰

6)舞踊「ぜい」 海勢頭あける

歌三振:宮城康明 金城栄五郎 山城暁 宮城欣也

箏:城間安子 笛:喜舎場孫好 胡弓:銘苺春政 太鼓:比嘉聰

7)舞踊「取納奉行」宮城豊子

歌三振:銘苺盛隆 宮城武碩 西村正吉 久場良昌

箏:上地律子 笛:喜舎場孫好 胡弓:銘苺春政 太鼓:比嘉聰

8)舞踊「天川」 金城道枝

歌三振:宮城康明 金城栄五郎 山城暁 宮城欣也

箏:城間安子 笛:我那覇常充 胡弓:新城清弘

9)舞踊「下り口説」 金城清一

歌三振:佐久田朝雄 饒波正廣 高江洲昌市 金城光信

箏:山内照子 笛:我那覇常充 胡弓:新城清弘 太鼓:比嘉聰

10)舞踊「本嘉手久」 金城光子

歌三振:金城清雄 濱元盛爾 上間宏敏 瑞慶覧長仁

箏:上地七重 笛:喜舎場孫好 胡弓:新城清弘

11)舞踊「花風」 宜保雅子

歌三振:照喜名進 照喜名朝國 照喜名朝之 金城力

箏:名嘉ヨシ子 笛:宇保英明 胡弓:山内秀雄

12) 舞踊「柳」 山城洋子

歌三振:銘苺盛隆 宮城武碩 西村正吉 久場良昌

箏:土地律子 笛:喜舎場孫好 胡弓:山内秀雄

13) 舞踊「鳩間節」 金城千壽子

歌三振:金城清雄 濱元盛爾 上間宏敏 瑞慶覧長仁

箏:安慶名久美子 笛:宇保英明 胡弓:銘苺春政 太鼓:比嘉聰

14) 舞踊「諸屯」 漢那七子

歌三振:糸敷善昭 下茂門勝 大湾朝重 渡久山英男

箏:屋嘉比桂子 笛:我那覇常充 胡弓:新城清弘

平成23年2月26日(土) 夜の部 国立劇場おきなわ 18時開演

1) 「かぎやで風」

赤嶺光子 新屋敷孝子 武富美智子 藤戸絹代 儀保政彦 根間教子

歌三線:高江洲昌市 崎浜秀光 吉野九一 仲順利治

箏:知花喜子 笛:大浜孫伴 胡弓:崎原盛勇 太鼓:森田左知夫

2) 舞踊「かせかけ」 伊禮秀子 瀬底愛子

歌三振:島袋功 西村正吉 宮城厚博

箏:城間盛久 笛:知念佐代子 胡弓:大浜孫伴 崎原盛勇

3) 舞踊「稻まづん」

高嶺久枝 平良律司子 照屋倫子 友寄春美 真境名英美 津波澄子 座喜味千枝子

歌三振:新城治 砂辺孝真 新城雄一 仲宗根盛次

箏:仲松恒子 笛:大浜孫伴 胡弓:当真嗣友

4) 舞踊「二才ぜい」 宮城早苗 宮城園美

歌三振:金城光信 前川元 久場良昌 前當正範

箏:久手堅直子 笛:大城聖 胡弓:当真嗣友 太鼓:森田左知夫

5) 舞踊「瓦屋節」 外間清子 比嘉倫子

歌三線:高江洲昌市 崎浜秀光 吉野九一 仲順利治

箏:石川洋子 笛:大城聖 胡弓:照屋健

6) 舞踊「秋の踊り」

知念範紺 城間久美子 我如古磨佐子 上里初美 瑞慶山和子 島尻ひさみ

歌三振:島袋功 西村正吉 宮城厚博 城間盛秋

箏:仲松恒子 笛:大城聖 胡弓:照屋健 太鼓:森田佐知夫

7) 舞踊「女こてい節」 照屋正江 神谷三千代 上原生見子

歌三振:金城光信 前川元 久場良昌 前當正範

箏:久手堅直子 笛:大浜孫伴 胡弓:崎原盛勇

8) 舞踊「天川」 中島政子 安次嶺律子 高江洲房子

歌三線:高江洲昌市 崎浜秀光 吉野九一 仲順利治

箏:石川洋子 笛:大浜孫伴 胡弓:崎原盛勇

9) 舞踊「浜千鳥」 志田真木 井口美恵子

- 歌三振:新城治 砂辺孝真 新城雄一 仲宗根盛次
 箏:知花喜子 笛:大浜孫伴 胡弓:当真嗣友 太鼓:森田佐知夫
- 10) 舞踊「本貫花」 島袋秀乃 山里孝子
 歌三振:新城治 砂辺孝真 新城雄一 仲宗根盛次
 箏:知念佐代子 笛:大城聖 胡弓:当真嗣友
- 11) 舞踊「前の浜」 宮良勝津美 比嘉早苗 山城小百合 比嘉智香子 松川好美
 歌三振:島袋功 西村正吉 宮城厚博 城間盛秋
 箏:仲松恒子 笛:大城聖 胡弓:照屋健 太鼓:森田佐知夫
- 12) 舞踊「谷茶前」 平岡孝子 大城常政
 歌三振:金城光信 前川元 久場良昌 前當正範
 箏:石川洋子 笛:大城聖 胡弓:照屋健 太鼓:森田左知夫

平成23年2月27日(日) 昼の部 国立劇場おきなわ 13時開演

1) 「かぎやで風」

金城順子 大浜多津江 仲村加代子 島由美子 山城愛子 比嘉光子
 歌三線:新垣仁輝 池原憲彦 喜瀬学 宇栄原宗勝
 箏:吉田登美子 笛:照屋正 胡弓:栄野元弘 太鼓:金城盛松

2) 舞踊「天川」 新垣満子 伊禮門喜美子 屋宜恵美子

歌三線:新垣仁輝 池原憲彦 喜瀬学 宇栄原宗勝
 箏:宮城光子 笛:照屋正 胡弓:栄野元弘

3) 舞踊「稲まづん」 与座京子 佐久川順子

歌三線:屋宜安正 喜納昌盛 宮原弘和 比嘉義勝
 箏:宮城光子 笛:照屋正 胡弓:又吉真也

4) 舞踊「前の浜」 親泊邦彦 大湾三瑠

歌三線:屋宜安正 喜納昌盛 宮原弘和 比嘉義勝
 箏:知名勝子 笛:照屋正 胡弓:又吉真也 太鼓:金城盛松

5) 舞踊「浜千鳥」 根路銘広美 嘉手苺幸代 宮城能香 宮城能麗

歌三線:神谷好弘 金城清一 新里清文 渡久山春憲
 箏:上間千枝子 笛:大城聖 胡弓:知花勇 太鼓:金城盛松

6) 舞踊「秋の踊り」 米須千加子 島袋正子 上原房子

歌三線:上原伸浩 末吉政利 伊礼均 伊波三郎
 箏:喜久村克子 笛:大城聖 胡弓:栄野元弘 太鼓:金城盛松

7) 舞踊「女こてい節」 當間千枝子 宮城恵子 玉城侑香李

歌三線:上原伸浩 末吉政利 伊礼均 伊波三郎
 箏:比嘉淳江 笛:大城聖 胡弓:栄野元弘

8) 舞踊「作田」 宮城裕子 嶺井清美 翁長律子 知花恵子 安谷屋ヨネ子

歌三線:金城タケ子 糸数春美 浦崎清子 金城トミ子
 箏:吉田登美子 笛:吉山常美 胡弓:又吉真也

9) 舞踊「瓦屋節」 金城末子 神山典子 平良恵子 安里タマ子

歌三線:神谷好弘 金城清一 新里清文 渡久山春憲

箏:上間千枝子 笛:吉山常美 胡弓:知花勇

10) 舞踊「本嘉手久」 親泊ナミ 親泊洋子 永吉静子 比嘉幸子

歌三線:田港朝弘 新垣浩 稲嶺盛律 神谷乗成

箏:比嘉淳江 笛:吉山常美 胡弓:知花勇

11) 舞踊「谷茶前」 知花由美子 鉢嶺初江

歌三線:田港朝弘 新垣浩 稲嶺盛律 神谷乗成

箏:喜久村克子 笛:吉山常美 胡弓:知花勇 太鼓:金城盛松

平成23年2月27日(日) 夜の部 国立劇場おきなわ 18時開演

1) 「かぎやで風」

比嘉政子 仲村正雄 末吉ヤスエ 石川詩子 金城幸子

歌三線:新垣安弘 宮里敏則 大城聡 松本紀

箏:野里葉子 笛:宮城英夫 胡弓:嶺井淳弘 太鼓:國場秀治

2) 舞踊「女こてい節」 宮城能舞 伊波正江 又吉啓子

歌三線:上原聡 上原陸三 宮里一人

箏:仲田美智子 笛:宮城英夫 胡弓:嶺井淳弘

3) 舞踊「作田」 仲田弥生子 仲程めぐみ

歌三線:上原聡 上原陸三 宮里一人

箏:大道タケ子 笛:仲盛長美 胡弓:川平賀道

4) 舞踊「かせかけ」 浦崎みゆき 大嶺園子 赤嶺美智子

歌三線:嶺井政仁 瑞慶覧朝孝 眞榮城玄俊 運天伊作

箏:神谷和枝 笛:小浜博文 胡弓:石川清二

5) 舞踊「下り口説」 上門加代子 崎浜紀美子 金城弘子

歌三線:嶺井政仁 瑞慶覧朝孝 眞榮城玄俊 運天伊作

箏:仲田美智子 笛:仲盛長美 胡弓:川平賀道 太鼓:國場秀治

6) 舞踊「四つ竹」 佐藤麗子 入嵩西道子 金城洋子

歌三線:新垣安弘 宮里敏則 大城聡 松本紀

箏:神谷和枝 笛:小浜博文 胡弓:嶺井淳弘

7) 舞踊「天川」 前川美智子 平田弘子

歌三線:大城幸代 田淵愛子 大城博子 又吉由美子

箏:野里葉子 笛:宮城英夫 胡弓:石川清二

8) 舞踊「瓦屋節」 大城一乃 玉城三千枝 大城好枝

歌三線:上地正隆 渡名喜康広 玉城和樹 新垣博史

箏:仲田美智子 笛:小浜博文 胡弓:石川清二

9) 舞踊「浜千鳥」 安座間明美 宇根清子 玉里君江 久手堅一子

歌三線:上地正隆 渡名喜康広 玉城和樹 新垣博史

箏:大道タケ子 笛:仲盛長美 胡弓:川平賀道 太鼓:國場秀治

10) 舞踊「稲まづん」 具志堅イク子 玉城律子

歌三線:糸数一雄 金城武 花城吉治 花城英樹

箏:野里葉子 笛:仲盛長美 胡弓:川平賀道

11) 舞踊「谷茶前」 平良昌代 神山浩子

歌三線:糸数一雄 金城武 花城吉治 花城英樹

箏:神谷和枝 笛:宮城英夫 胡弓:嶺井淳弘 太鼓:國場秀治

③ 県指定無形文化財「琉球歌劇」伝承者養成事業

事業総額:1,521千円(県680千円、保存会841千円)

実施方法:県補助による琉球歌劇保存会直営事業(会長:森田豊一)

事業内容:伝承者養成の研修会を実施し、研修成果の発表会を行った。

事業期間:平成22年12月6日～平成23年2月17日

研修発表会:平成23年2月7日(月) 沖縄市民小劇場 18:30開演

演 目:歌劇「泊阿嘉」

指 導:玉城伸・大城光子・瀬名波孝子・伊良波冴子・吉田妙子

仲嶺眞永・平良進・北村三郎・眞栄田文子

(地謡指導)登川誠仁・上江洲由孝・徳原清文 (監修) 森田豊一

配 役:歌劇「泊阿嘉」(作・我如古弥栄 演出・森田豊一)

阿嘉の樽金(高宮城実人) 伊佐の思鶴(小嶺和佳子) 乳母(安次嶺利美)

阿嘉の父(春洋一) 伊佐の父(具志清健) 船頭(知名剛史)

下男(山川宗春)

地 謡:歌三線 具志幸大・嘉陽正

④ 県指定無形文化財「沖縄伝統音楽野村流」伝承者養成事業

事業総額:303千円(県100千円、保存会203千円)

実施方法:県補助による沖縄伝統音楽野村流保存会直営事業(会長:伊良波幸善)

事業内容:伝承者養成研修会を実施し、保持者による技能指導を行った。

事業期間:平成22年10月29日～平成23年1月30日

研 修 会:平成22年11月7日(日) 国立劇場大稽古室

平成23年1月23日(日) 沖縄県男女共同参画センターていりる

伝 承 者:宮城操、大城英雄、宮里宏、銘苅良光、松川亨、仲嶺盛文、神田久男
仲順利治、佐久本嘉夫、桃原廣栄、宮里武廣、伊波政光、城間盛秋
仲尾善勝、大宜味朝和、佐喜真光雄、伊佐ヒサ子、与座順光、高江洲昌市
小嶺長則、新崎盛忠、小渡良盛、浦崎直吉、糸数昌治、渡名喜庸、濱里長希
宮城厚博、吉野久一、宮城豊、松田盛、下地康雄、島袋進孝、上門正光
安慶名盛一、平川善喜、池原盛光、徳門清春、山城正俊、徳原清文
多和田真一、幸地堅吉、赤嶺勝巳、兼島兼良、大城昭成、安慶名榮
山城善吉、喜友名朝清、池宮城克成、普天間安弘、伊計和夫、佐久本兼和
玉栄真光、渡慶次淳、中村正幸、伊良皆勇吉、新地孝一、新城敬一、仲程忠
池原憲勝、比嘉秀昭、島袋功、吉本博昌、仲宗根朝儀、當間正義
伊野波盛健、神谷繁和、金城栄徳、新城永文、勝田宗和、前田傳松、金城茂
小那覇安睦、屋宜盛一、キース仲兼久、ノーマン金城、儀間剛、仲本喜至
金城清一、比嘉義勝、野原廣信、久高将寛、知花昌誠、玉那覇昭二、金城勉
東恩納武、宮城赴、渡久山春憲、宮城修、宮城幸盛、伊波三郎
普久原朝次郎、新垣浩、浦崎清子、稲嶺盛律、喜瀬学、上原宏子、上地弘子
糸数春美、上原トミ子、松田邦昭、宇栄原宗勝、田港朝弘、伊禮均
仲宗根裕 神田朝和、中村一史、安次嶺正雄、新垣親栄、池原朝雄
浜比嘉宗一、田場典明、渡真利清吉、仲村修博、豊川英健、上原良秀
黒島惇、比嘉聡、与儀正俊、新垣晃久、宇根良則、神谷清一、宮城信子
新井勝巳、高那真盛、比嘉俊雄、糸数正男、座安清喜、瑞慶覧長良

大城次郎、宮城善徳、大城喜功、潮平浩佑、浦崎直邦、上原昌栄、仲程寶雄
神谷清吉、太田隆健、座波朝正、比嘉初江、吉本重雄、具志盛義、中村昌光
仲宗根巴津美、島袋久、宮平弘和、崎原盛次ぐ、渡慶次淳、與那嶺雄誠
伊波正博、照屋健、當間嗣友、伊波政光、和宇慶正雄、高良利雄
柳アリソン徳子、比嘉敏子

⑤県指定無形文化財「沖縄伝統音楽安富祖流」伝承者養成事業

事業総額:308千円(県100千円、保存会208千円)

実施方法:県補助による沖縄伝統音楽安富祖流保存会直営事業(会長:照喜名朝一)

事業内容:保持者の指導による伝承者養成研修会(8回)を実施した。

事業期間:平成22年4月23日～平成23年3月31日

研修会:平成22年9月～平成23年3月 国立劇場おきなわ稽古室(実技研修)

平成22年5月23日 真玉橋公民館(講義研修)

講師:大城學(特別講演会「伝統音楽安富祖流と宮里春行師」)

伝承者:比嘉元太、喜屋武肇、平田永哲、宮良圭蔵、上原常宏、上間宏敏
安仁屋友彦、新屋勝正、瑞慶覧長仁、村田定弥GURANT
玉堂昭夫ケンテン、新城亘、池原佳恵、平良萬吉、喜屋武博、喜久村元
金城朝昭、玉城成輝、沖充、東江衆雄、金城武、伊禮得守、大城進昭
花城吉治、田港保弘、宮里幸夫、嘉陽田朝純、上地正隆、渡名喜康広
野底忠、太田陽則、嶺井敦弘、真喜志敏子、中村正盛、知花柳盛
濱元盛爾、島袋元一、与那嶺茂春、赤嶺美枝子、富原守信、稲福義男
宮城能慎、糸数一雄、浦崎康信、照喜名進、宇栄原宗徹、瑞慶覧朝孝
成田源幸、仲盛康、西村勉、宮里敏則、座波千代子、比嘉静子
比嘉順実、赤嶺幸喜、又吉由美子、與那原良英、宮城能正、新木孝三郎
嘉数三郎、神谷博和、伊泊辰夫、濱元智隆、仲嶺伸吾、山根安行、
新垣安弘、照喜名朝之、照喜名朝国、石川清二、島袋朝夫
仲宗根ヨシ子、比嘉真三、金城盛夫、上原達雄、我那覇留美子
喜納潤一、與座盛康、上原源三、上原聡、阿良行晴、川平賀道
仲原善光、城間恒子、安富祖忠章、小浜博文、笹谷正一、宮里一人
桃原弘三郎、赤嶺正男、上原敏通、糸数宝通、喜名正勝、嶺井政仁
上原民源、新川光男、安森晃、座安清規、佐久本盛正、新盛直一
大嶺雅規、岸本隼人、金城康昌、大城久昇、平田邦夫、上原睦三
照喜名智、我那覇常充、内間繁、宮里政栄、富名腰須賀江、赤嶺良雄
具志堅いち、島袋儀夫、富名腰乃、金城力、松本紀、岸本剛、山川雅之
花城秀樹

⑥県指定無形文化財「沖縄伝統音楽箏曲」伝承者養成事業

事業総額:310千円(県100千円、保存会210千円)

実施方法:県補助による沖縄伝統音楽箏曲保存会直営事業(会長:當山文子)

事業内容:保持者の指導による伝承者養成研修会(3回)、並びに芸能史研究家による特別

公演会を実施し、技能の向上と沖縄の伝統音楽についての理解を深めた。

事業期間:平成22年11月5日～平成23年3月31日

特別講演会:平成23年1月19日(水) 国立劇場おきなわ

講師:大城學(特別講演会「箏曲の継承と発展」)

伝承者:喜納順子、當間スミ、仲真竹子、新城幸子、名幸理美子、儀間武子
中島絹枝、宮城園子、前田利子、許田恵美子、前田千代子、松堂和子
新垣涼子、崎山文子、具志堅孝子、知名勝江、東江朝子、山内照子
大道タケ子、山田和子、名嘉ヨシ子、神谷和枝、上地律子、石川洋子
仲宗根巴津美、知念佐代子、手登根廣美、宮良まさみ、島袋芳子
嘉数カツ子、東恩納郁子、山城芳枝、国吉清子、久田ヨシ子、栗国郁子
新垣宜子、喜久村克子、平良マサエ、上間千枝子、中村美智子、城間良子
具志堅初美、比嘉淳江、比嘉博明、比嘉玲子、屋嘉比桂子、上地七重
比嘉トキ、崎原展子、新田邦子、松田勝子、宇良タカ子、森田薫

崎原のり、吉原裕子、高江洲初子、野村時子、玉城弘子、名嘉真直子
仲間頼子、沢岷京子、比屋根安子、新垣晴子、仲村貞子、山城カズエ
美里登喜子、上地吉子、仲本泰子、山城ヨシ子、長田京子、仲宗根順子
中村富子、上間節子、名嘉ハツ、波平エミ子、伊波治代子、諸見里キミ
山内光子、安里恵美子、牧港和子、山川幸子、中山民子、米須幸子
比嘉敏江、与座末子、高江洲順子、佐渡山久江、久手堅順子、知花喜子
宮城秀子、神谷広美、宮城ミサ子、宮里秀明、大城レイ子、山川ヤス
翁長ミサ子、知名初枝、新本澄子、比嘉良子、島袋喜美子、大城仁子
桃原フミ子、比嘉美恵子、桃原和枝、松永敬子、末吉弘子、大城律子
仲村和子、喜屋武初江、渡久山美智子、山城真理子、金城君江

(2)伝統芸能に係るメセナ事業

①助成事業名:(財)三菱UFJ信託地域文化財団助成(伝統芸能部門)

(財団法人 三菱UFJ信託地域文化財団)

平成22年度

助成対象: 琉球古典音楽湛水流保存会創立50周年記念公演
第7回湛水流保持者・伝承者公演併催

助成対象団体: 琉球古典音楽湛水流保存会

助成金額: 300,000円

(3)工芸技術

①重要無形文化財の伝承者養成事業

ア) 重要無形文化財「喜如嘉の芭蕉布」伝承者養成事業

事業総額：2,735千円(国 2,100千円、県 197千円、村 436千円、保存会 2千円)

実施方法：国・県・大宜味村補助による保存会直営事業

事業主体：喜如嘉の芭蕉布保存会(会長：平良敏子)

事業内容：技能保持者3名と修了生5名の8名で講師を務め、平成21年度までの受講生7名に新しく1名を加えた8名を対象に伝承者個々人の熟練度に応じた技術指導を行った。また、文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化課専門員の指導も実施した。本年度行った技術は以下のとおりである。

- 1) 芯止め・葉打ち、2) 苧倒し・苧引き、3) 染色、4) 緋結び、5) 製織、6) 撚り掛け・整経、7) 洗濯・仕上、8) 座学、9) 苧績み、10) 糸くり、11) 管巻き

講師：平良敏子(染色)

平良美恵子(芯止め、葉落し、製織・苧績み・管巻き・座学)

辺土名加代子(製織・撚り掛け)

翁長洋子(緋結び)

平良京子(苧倒し・苧炊き・苧引き)

宮城涼子(苧倒し・苧炊き・苧引き)

大城章子(製織・苧倒し・苧炊き・苧引き)

當間廣子(洗濯・仕上げ・苧績み・管巻き)

伝承者：仲村要子(7)、内藤京子(6)、得平智子(4)、吉田木綿(3)、大城絹恵(3)、金城直美(2)、松本勝枝(2)、山城薫(1)

*伝承者氏名に続く()内の数字は受講回数を示す。以下同様。

事業期間：平成22年5月6日～平成23年3月18日

場所：大宜味村立芭蕉布会館

イ) 重要無形文化財「宮古上布」伝承者養成事業

事業総額：1,793千円(国 1,000千円、県 179千円、市 500千円、保持団体 114千円)

実施方法：国・県・宮古島市補助による保持団体直営事業

事業主体：宮古上布保持団体(代表者：新里玲子)

事業内容：本年度は、図案・手括り及び織りの2部門の伝承者養成講座を実施した。図案・手括りは技能保持者自宅工房に教室を設け、講師1名、受講生2名の体制で指導を行った。織りは講師1名、受講生1名の体制で研修生自宅にて指導を行った。また、文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化課専門員の指導も実施した。本年度行った技術は次のとおりである。

- 1) 図案・手括り、2) 織り

講師：下地達雄(図案・手括り)、豊見山カツ子(織り)

伝承者：下里愛子(2)、荷川取ひろみ(2)、長濱政子(1)

事業期間：平成22年8月1日～平成23年3月27日

場所：指導者自宅工房及び研修生自宅

ウ) 重要無形文化財「久米島紬」伝承者養成事業

事業総額：6,263千円(国 6,037千円、県 60千円、町 54千円、保持団体 112千円)

実施方法：国・県・久米島町補助による保持団体直営事業

事業主体：久米島紬保持団体(代表者：山城宗太郎)

事業内容：講師15名で伝承者10名に養蚕、絹糸作り、真綿作り、糸つむぎ、製織の技術指導を行った。養蚕は、講師3名が伝承者10名に桑の葉の取り方から上族まで毎日2～3回、桑の葉の与え方や上族の時期等の指導を行っ

た。絹糸作り、糸つむぎ、真綿作りは、各3名の講師でケンネル（座繰り機）等での糸作り、作った真綿からの糸ひき、撚糸機による撚りのかけ方の指導を行った。また、文化庁調査官及び県文化課専門員の現地指導も実施した。本年度行った技術は次のとおりである。

1) 養蚕、2) 絹糸作り、3) 真綿作り、4) 糸つむぎ、5) 製織

講師：山城宗太郎（養蚕）
桃原禎子（養蚕）
宮平トシ子（養蚕）
神里節子（絹糸作り・真綿作り）
平良美智子（絹糸作り）
幸地綾子（絹糸作り）
桃原美枝（真綿作り）
宇江城ヤス子（真綿作り）
山城ハツ（糸つむぎ）
儀間雪子（糸つむぎ）
高坂エミ子（糸つむぎ）
玉城カマド（製織）
宮平登美子（製織）
新垣勝秀（製織）

伝承者：山城智子（4）、我那覇ケイ子（4）、平田とき子（4）、古堅ヨシエ（4）、
神里智江（4）、島袋佐枝（4）、大田広美（4）、儀間勝枝（4）、
吉永ルリ子（4）、佐久田康子（4）

事業期間：平成22年4月1日～平成23年3月31日

場所：久米島紬の里ユイマール館

②国選定保存技術の伝承者養成事業

ア) 選定保存技術「琉球藍製造」技術錬磨及び伝承者養成事業

事業総額：2,768千円（国1,106千円、県226千円、町100千円、保持者1,336千円）

実施方法：国・県・本部町補助による保持者直営事業

事業主体：伊野波盛正（保持者）

事業内容：琉球藍は沖縄の染織品の製作には不可欠な原材料で、現在、選定保存技術保持者である伊野波盛正が唯一の製造者である。藍の製造は自然環境に左右されやすく、安定した供給と高い品質を維持するためには藍葉の栽培・管理と高度に熟練した藍製造の技術が要求される。藍の製造は年2回（6月、11月）行われるが、今年度は染料としての藍の品質を決定する藍（リュウキュウアイ）の栽培管理に重点を置き、藍葉の植付け、施肥、除草、刈入れ、熟成・発酵、沈澱・濾過の藍製造の一連の技術錬磨の事業を実施した。同時に、2名の伝承者養成を行った。

伝承者：比嘉清司、友寄英彦

事業期間：平成22年4月1日～平成23年3月30日

場所：伊野波盛正の藍畑・工場

イ) 選定保存技術「琉球藍製造」伝承者養成事業

事業総額：5,644千円（国5,129千円、県105千円、町400千円、保存会10千円）

実施方法：国・県・本部町補助による保存会直営事業

事業主体：琉球藍製造技術保存会（会長：伊良波幸秀）

事業内容：泥藍製造技術向上のため5～6月及び11月の泥藍の製造期間は製造技術の伝承者養成を実施した。その他の期間は施肥、除草、藍草の植え付け等、葉藍育成研修を行った。また、文化庁調査官及び県文化課専門員の現地指導も実施した。作業工程は以下の通りである。

- 1) 藍葉植え付け、2) 施肥、3) 除草、4) 刈り入れ、
- 5) 熟成・発酵、6) 沈殿・濾過

講師：伊野波盛正（泥藍製造、藍葉育成）

伝承者：竹山安秀、仲西利夫

事業期間：平成22年4月1日～平成23年3月30日

場所：伊野波盛正の藍畑・工場及び各藍葉農家の畑

ウ) 選定保存技術「苧麻糸績み」伝承者養成事業

事業総額：7,530千円（国7,250千円、県87千円、保存会193千円）

実施方法：国・県補助による保存会直営事業

事業主体：宮古苧麻績み保存会（会長：下地正子）

事業内容：17教室（平良5カ所、下地6カ所、上野2カ所、城辺2カ所、伊良部1カ所、多良間1カ所）にて講師各1名（合計17名）で伝承者各8名（合計136名）に苧麻栽培から苧麻糸績みの技術指導を行った。また、文化庁調査官及び県文化課専門員の指導も実施した。本年度行った技術は次のとおりである。

- ①苧麻の栽培・収穫
- ②繊維はぎ取り
- ③糸つむぎ
- ④撚りかけ
- ⑤整経

事業期間：平成22年4月1日～平成23年3月16日

場所：宮古島市、多良間村の各講師宅又は公民館

エ) 選定保存技術「手織り」技術錬磨及び伝承者養成事業

事業総額：1,862千円（国1,106千円、県185千円、保持者571千円）

実施方法：国・県補助による保持者直営事業

事業主体：大城義政（保持者）

事業内容：手織り製作は、手織り用の木製の機（織機）を製作する技術であり、染織品の工芸技術を支える重要な用具製作技術である。長期間乾燥させた木材を使用し、各部材を製材・整形し、組み立てる。この一連の工程には、木材に関する深い知識・加工技術が必要であり、さらに織機の構造・機能、手織り（織物）技術に対する理解と知識が要求される。本年度は、手織り製作にかかる全工程を伝承者1名に伝授した。

伝承者：大城伸悟

事業期間：平成22年4月2日～平成23年3月31日

場所：大城織機製作所

③沖縄県指定無形文化財の伝承者養成事業

ア) 県指定無形文化財「びん型」伝承者養成事業

事業総額：426千円（県316千円、保存会110千円）

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：沖縄伝統びん型保存会（代表：城間榮順）

事業内容：型紙を使用して染めるびん型（白地型びん型、返し型びん型、染地型びん型、籠型びん型、二重型びん型）と、型紙を用いず、糊袋に糊を入れ白生地の上に模様を描いて染める筒描きびん型のいずれかの指導を行った。各工程については次のとおりである。

- 1) 下絵、2) 型紙彫り／糊袋作成、3) 型置き／筒描き、4) 色差し、
- 5) 糊伏せ、6) 地染め

講師：城間榮順、知念績元、喜友名盛蔵

伝承者：城間あずさ（1）、知念績人（1）、喜友名速（14）

事業期間：平成22年11月1日～平成23年2月28日

場所：各保持者工房

イ) 県指定無形文化財「本場首里の織物」伝承者養成事業

事業総額：345千円（県 266千円、保存会 79千円）

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：沖縄伝統本場首里織物保存会（代表：祝嶺恭子）

事業内容：「花倉織」の全工程（製図から製織まで）の技術指導を実施した。各工程については次のとおりである。

- 1) 意匠設計作成、2) 糸精練、3) 経糸染色、4) 経糸糊付け、
- 5) 経糸繰返し、6) 整経、7) 仮箆通し、8) 経巻き、9) 綜統通し、
- 10) 箆通し、11) 織付け、12) 緯糸染色、13) 緯糸小管巻き、14) 製織、
- 15) 整理仕上げ

講師：祝嶺恭子、多和田淑子、ルバース・ミヤヒラ吟子

伝承者：古屋英子（5）、島袋幸恵（4）、野原園子（6）、
玉木由香（1）、今帰仁桃子（2）、宮城かおり（6）

事業期間：平成22年11月1日～平成22年12月24日

場所：各保持者工房

ウ) 県指定無形文化財「読谷山花織」伝承者養成事業

事業総額：448千円（県 345千円、保存会 103千円）

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：読谷山花織保存会（代表：比嘉恵美子）

事業内容：伝統的染料である琉球藍で染色を行い、製織(着尺)を指導した。

講師：比嘉恵美子、島袋秀、池原ケイ子

伝承者：島袋明美（15）、比嘉美音子（14）、比嘉昌子（3）、山田恵利子（3）

事業期間：平成22年10月1日～平成23年2月28日

場所：各保持者工房

エ) 県指定無形文化財「八重山上布」伝承者養成事業

事業総額：426千円（県 316千円、市 60千円、保存会 50千円）

実施方法：県・石垣市補助による保存会直営事業

事業主体：八重山上布保存会（代表：新垣幸子）

事業内容：括り、捺染の技を受講生の経験に応じて技術指導した。また、中村澄子氏の工房では着尺に統一し、新垣幸子氏の工房では苧麻の苧倒しから苧引きや紡ぎ方を講習の一環として組み込んだ。

作業工程は以下の通りである。

- 1) 図案作成、2) 経糸染色、3) 整経、4) 経糸のり張り、
- 5) 経緋括り、6) 経緋染色、7) 経緋のり付け、8) 経仮箆通し、
- 9) 経糸巻き込み、10) 綜統通し、11) 本箆通し、12) 織り、
- 13) 布面整理、14) 洗い張り（伸子張り）、15) 仕上げ

講師：新垣幸子、中村澄子

伝承者：上地克江（13）、秦和美（8）

事業期間：平成22年10月1日～平成23年2月28日

場所：各保持者工房

オ) 県指定無形文化財「琉球漆器」伝承者養成事業

事業総額：349千円（県 259千円、保存会 90千円）

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：琉球漆器保存会（代表：前田孝允）

事業内容：昨年度から継続の各伝承者（沈金2人・箔絵、螺鈿2人）に技術・技法と同時に琉球漆器の歴史、特性も教授した。各工程は以下の通りである。

沈金：1) デザイン、2) 彫り、3) 金入れ、4) ふきとり、5) 完成

螺鈿：1) デザイン、2) 貝切り、3) 貝に黒漆塗り、4) 器物への貼
付け、5) 掃除、6) 1回漆塗り、7) 研ぎ、8) 2回漆塗り、
9) 3回漆塗り、10) 研ぎ、11) 胴摺り、12) 1回摺漆、
13) 2回摺漆、14) 3回摺漆、15) 艶出し、16) 仕上げ・完成
箔絵：1) デザイン、2) 顔料にて置目描き、3) 図案転写、
4) 箔下漆で描く、5) 半乾燥後金箔貼り、6) 掃除、
7) 線描で仕上げ

講 師：金城唯喜、前田孝允

伝 承 者：赤嶺貴子 (14)、国吉亮子 (14)、宮良千亜紀 (4)、前田栄 (1)

事業期間：平成 22 年 11 月 1 日～平成 23 年 3 月 25 日

場 所：各保持者工房

3. 民俗文化財

(1) 民俗文化財

① 沖縄の葬制に関する総合調査事業

事業総額：4,000千円（国3,200千円、県800千円）

事業種別：国庫補助事業

事業主体：沖縄県教育委員会

事業期間：平成22年4月1日から平成23年3月31日（平成21年度から平成23年度まで3年間継続）

事業目的：沖縄県には、火葬が定着する以前の龕、龕屋、旗等の葬具類とそれに係る葬制習俗が各地に残されている。本調査は、沖縄県全域を対象とした葬制習俗に係る総合調査を行い、その実態の把握と各地域に現存する葬具等の状態、文化財的価値等を明らかにし、有形民俗文化財の保護・活用に向けた基礎資料とすることを目的とする。

実施場所：県内全域（沖縄本島、本島周辺離島、宮古諸島、八重山諸島）

事業概要：1) 概要 調査地を、沖縄本島北部・中部・南部・及び周辺離島、宮古諸島、八重山諸島に区分し、文化財調査嘱託員及び調査協力員が葬制習俗に関する総合調査を行う。調査地区及び調査内容等は、文化財調査嘱託員で組織した沖縄の葬制調査会にて検討する。

2) 成果 うるま市、糸満市、石垣市、古宇利島、渡名喜島、竹富島、宮古島市、多良間村の基礎調査、実地調査を実施した。

調査嘱託員：赤嶺 政 信（琉球大学教授）

上江洲 均（元久米島自然文化センター館長）

稲 福 みき子（沖縄国際大学教授）

名嘉真 宜 勝（沖縄県文化財保護審議会専門委員）

崎 原 恒 新（沖縄県文化財保護審議会委員）

下 地 和 宏（宮古島市文化財保護審議会委員）

石 垣 博 孝（石垣市文化財保護審議会委員）

調査協力員：8名

② 第52回九州地区民俗芸能大会

事業総額：1,018千円（県500千円 団体518千円）

事業種別：県単独補助事業

事業主体：我謝獅子ケーイ

大会名称：第52回九州地区民俗芸能大会

開催期日：平成22年11月7日（日）

開催場所：基山町民会館（佐賀県三養基郡基山町）

派遣芸能：西原町字我謝の獅子は、県内でも他に例を見ない沖縄空手の型、九三九（クーサシク）、ピンアンより考案されており、元手（ムトゥディー）と新手（ミーディー）がある。地謡の三線、太鼓、笛による我謝獅子山節（與那節）にのせて、演じる。芸能の実施は、旧暦の7月17日、8月15日に我謝地域発祥の拝所（神座腹）、

ノロ殿内（我勢頭）などで実施する。

出演演目：

| | 芸 能 名 | 出演団体 所在地 |
|---|---------------------------------------|--|
| 1 | オネオンデ | 狩立オネオンデ保存会 長崎県五島市富江町狩立 |
| 2 | かたうらしもつきまつり げいのう ししまい 堅浦霜月祭りの芸能獅子舞 | かたうらこてんげいのうほぞんかい おおいたけん つく み し おおあざかたうら 堅浦古典芸能保存会 大分県津久見市大字堅浦 |
| 3 | はらいがわかくら 祓川神楽 | はらいがわかくらほぞんかい みやぎけんにしもろかたかほらちようおおあざかまむ たあざはらいかわ 祓川神楽保存会 宮崎県西諸県高原町大字蒲牟田字祓川 |
| 4 | こみやじむしお おど 小宮地虫追い踊り | こみやじむしお まつりほぞんかい くまもとけんあまくさししんわまち こみやじ 小宮地虫追い祭保存会 熊本県天草市新和町小宮地 |
| 5 | みやうら ししまい 宮浦の獅子舞 | きやまちようみんぞくげいのうほぞんかい し しぐみ さがけん みやまぐんきやまちようみやうら 基山町民俗芸能保存会獅子組 佐賀県三養基郡基山町宮浦 |
| 6 | たかしきようげん 高志狂言 | たかしきようげんほぞんかい さがけんかんざきしちよだちようしもさかあざたかし 高志狂言保存会 佐賀県神崎市千代田町下坂字高志 |
| 7 | みしまむらいおうじま はつさくたいこおど 三島村硫黄島の八朔太鼓踊り | みしまむらいおうじま はつさくたいこおど ほぞんかい かごしまけんみしまむらいおうじま 三島村硫黄島の八朔太鼓踊り保存会 鹿児島県三島村硫黄島 |
| 8 | いわとかぐら 岩戸神楽 | いわとかぐらほぞんかい ちんらくしや ふくおかけんちくしぐんなかがわまちおおあざやまだ 岩戸神楽保存会 珍楽社 福岡県筑紫郡那珂川町大字山田 |
| 9 | がじやじし 我謝獅子ケーイ | がじやでんとうげいのうほぞんかい おきなわけんにしほらちようあざがじや 我謝伝統芸能保存会 沖縄県西原町字我謝 |

※ 九州各県から1団体、開催地長崎県は2団体

(2) 民俗文化財に係るメセナ事業

① 助成事業名：「地域の伝統文化」助成事業

(財団法人 明治安田クオリティオブライフ文化財団)

平成22年度

助成対象： 衣装・用具購入費の一部

助成対象団体： 鳩間民俗芸能保存会

伝承行事の名称： 豊年祭

助成金額： 560,000円

② 助成事業名：地域文化活動助成事業

(財団法人 沖永文化振興財団)

平成22年度

助成対象： 多良間村の豊年祭用具購入事業

助成対象団体： 多良間村民俗芸能保存会

助成金額： 180,000円

4. 記念物

(1) 史跡・名勝

本県における国指定の史跡・名勝(特別名勝を含む)及び県指定の史跡・名勝の件数は合計109件(平成23年4月1日現在)である。今後も貴重な文化財の適切な保護と保存、活用を図るために、指定文化財の件数を増やしていく必要がある。

史跡・名勝等の復元整備等については、現在、国・県の指定物件を中心に進められている。平成22年度は国指定史跡の「円覚寺跡」、「糸数城跡」、「フルスト原遺跡」、「具志川城跡」(久米島町)、「具志川城跡」(糸満市)、「知念城跡」、「浦添城跡」、歴史の道「ハンタ道及びパンジュ道」、国指定特別名勝の「識名園」、国指定名勝の「伊江殿内庭園」で保存修理事業を実施した。総合整備活用推進事業は国指定史跡の「今帰仁城跡附シイナ城跡」、「勝連城跡」で実施した。土地買い上げ事業は国指定史跡の「今帰仁城跡附シイナ城跡」、「勝連城跡」、「大和井」、「内間御殿」で実施した。史跡等保存管理計画策定事業は国指定史跡の「今帰仁城跡附シイナ城跡」、「山田城跡」、「伊礼原遺跡」、名勝「東平安名崎」で実施した。

① 国庫補助事業

ア) 史跡等の土地買い上げ

a) 事業名: 史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」史跡等買い上げ事業

事業主体: 今帰仁村

事業経費: 104,074 千円 (国 83,259 千円、県 3,000 千円、村 17,815 千円)

買上実績: 26,436 m²

b) 事業名: 史跡「勝連城跡」史跡等買い上げ事業

事業主体: うるま市

事業経費: 42,585 千円 (国 34,068 千円、県 1,277 千円、市 7,240 千円)

買上実績: 2,268.34 m²

c) 事業名: 史跡「宇江城城跡」史跡等買い上げ事業

事業主体: 久米島町

事業経費: 10,910 千円 (国 8,728 千円、県 213 千円、町 1,969 千円)

買上実績: 19,265 m²

d) 事業名: 史跡「大和井」史跡等買い上げ事業

事業主体: 宮古島市

事業経費: 15,000 千円 (国 12,000 千円、県 450 千円、市 2,550 千円)

買上実績: 77.00 m²

e) 事業名 : 史跡「内間御殿」史跡等買い上げ事業

事業主体 : 西原町

事業経費 : 231,545 千円 (国 185,236 千円、町 46,309 千円)

買上実績 : 4,534.76 m²

イ) 史跡・名勝の保存修理事業

a) 事業名 : 史跡「円覚寺跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体 : 沖縄県

事業経費 : 17,677 千円 (国 14,141 千円、県 3,536 千円)

事業内容 : 遺構確認調査及び石牆の検討結果を踏まえた上での石牆整備を工事請負で行った。

◇円覚寺跡整備委員会

①平成 22 年 10 月 26 日

②平成 23 年 2 月 8 日

b) 事業名 : 史跡「糸数城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業および災害復旧事業

事業主体 : 南城市

事業経費 : (整備) 5,910 千円 (国 4,728 千円、県 147 千円、市 1,035 千円)

(災害復旧分) 2,338 千円 (国 1,987 千円、市 351 千円)

事業内容 : 城壁石積保存修理事業を実施し、平成 22 年 2 月 27 日に沖縄本島近海で発生したマグニチュード 6.9 の地震により一部が崩落した南の虎口跡城壁石積の復旧工事を行った。

◇糸数城跡整備委員会

①平成 22 年 7 月 15 日

②平成 23 年 3 月 4 日

c) 事業名 : 史跡「フルスト原遺跡」史跡等・登録記念物保存修理事業

事業主体 : 石垣市

事業経費 : 9,000 千円 (国 7,200 千円、県 225 千円、市 1,575 千円)

事業内容 : 第 4 号石塁北西トレンチ・第 10 号石塁東トレンチ遺構確認調査、微地形測量および伐採搬出、写真測量、資料整理を実施した。

◇フルスト原遺跡整備委員会

①平成 22 年 12 月 8 日

②平成 23 年 3 月 1 日

d) 事業名 : 史跡「具志川城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体 : 久米島町

事業経費 : 13,900 千円 (国 11,120 千円、県 347 千円、町 2,433 千円)

事業内容 : 具志川城跡三の郭城門跡東側内壁及び同東側外壁の遺構確認調査を実施した。また、これまでの発掘調査によって得られた出土品の台帳整理を行った。

◇具志川城跡整備委員会

①平成 22 年 10 月 21 日 ②平成 23 年 2 月 2 日

e) 事業名 : 史跡「具志川城跡」史跡等・登録記念物保存修理事業

事業主体 : 糸満市

事業経費 : 16,000 千円 (国 12,800 千円、県 400 千円、市 2,800 千円)

事業内容 : 城門を構成する「北のアザナ」と「東のアザナ」の外郭側の石垣基礎部の確認調査と、「北のアザナ」石面の確認調査を実施した。

◇具志川城跡整備委員会

①平成 23 年 2 月 17 日

f) 事業名 : 史跡「知念城跡」史跡等・登録記念物保存修理事業

事業主体 : 南城市

事業経費 : 20,000 千円 (国 16,000 千円、県 500 千円、市 3,500 千円)

事業内容 : 崩落の著しい城郭南側を整備するため、樹木の伐採と崩落土砂及び崩落石の除去を行った。

◇知念城跡整備委員会

①平成 22 年 10 月 22 日 ②平成 23 年 3 月 18 日

g) 事業名 : 特別名勝「識名園」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体 : 那覇市

事業経費 : 12,861 千円 (国 10,288 千円、県 321 千円、市 2,252 千円)

事業内容 : 識名園は全体的に排水状況が悪く、雨天時には至る所に水溜まりができて、来園者からの苦情が多く、管理上、保存活用のうえからも支障があり、抜本的な対策が求められている。その排水状況の改善整備のため、整備を行った。

◇識名園排水計画検討委員会

①平成 22 年 9 月 29 日

h) 事業名 : 名勝「伊江殿内庭園」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体 : 那覇市

事業経費 : 11,486 千円 (国 9,188 千円、県 287 千円、市 2,011 千円)

事業内容 : 伊江殿内庭園の安定的な保存活用を行うため、委託による園路写真測量・図化業務、水路写真測量・図化業務、景石現況調査業務、東側斜面地実施設計業務及び請負業務として仮囲い設置工事を行った。

◇伊江殿内庭園環境整備検討委員会

①平成 22 年 9 月 14 日 ②平成 22 年 9 月 29 日

③平成 22 年 11 月 23 日 ④平成 23 年 1 月 18 日

⑤平成 23 年 3 月 14 日

i) 事業名：史跡「浦添城跡」史跡等・登録記念物保存修理事業

事業主体：浦添市

事業経費：38,000 千円（国 30,400 千円、県 950 千円、市 6,650 千円）

事業内容：浦添城跡の地質調査とワカレジー（為朝岩）のレーザー計

測、平成 23 年度敷設予定の仮設道測量設計、出土遺物の自然科学分析、外郭南地区及び内郭東地区の遺構調査を実施するとともに今年度の出土遺物整理作業を行った。

◇浦添城跡整備委員会

①平成 23 年 3 月 25 日

j) 事業名：史跡「勝連城跡」史跡等総合整備活用推進事業および災害復旧事業

事業主体：うるま市

事業経費：40,000 千円（国 32,000 千円、県 1,320 千円、市 6,680 千円）

（災害復旧分）6,580 千円（国 5,593 千円、市 987 千円）

事業内容：四の曲輪東区（約 400 m²）の遺構調査及び四の曲輪北区及び東区の石積修復を実施した。また平成 22 年 2 月 27 日に沖縄本島近海で発生したマグニチュード 6.9 の地震により損壊した石積み復旧を行った。

◇勝連城跡整備委員会

①平成 22 年 5 月 21 日

②平成 22 年 6 月 3 日

③平成 22 年 10 月 27 日

④平成 22 年 12 月 24 日

k) 事業名：史跡「今帰仁城跡」史跡等総合整備活用推進事業

事業主体：今帰仁村

事業経費：65,000 千円（国 52,000 千円、県 2,210 千円、村 10,790 千円）

事業内容：外郭地区の発掘調査及び外郭城壁の石垣修理工事を実施した。

◇今帰仁城跡調査研究整備委員会

①平成 22 年 7 月 22 日

l) 事業名：史跡「中城城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体：中城村

事業経費：35,000 千円（国 28,000 千円、県 875 千円、村 6,125 千円）

事業内容：一の郭正殿跡基壇上の遺構確認調査を実施し、一の郭物見台石積の解体復旧（約 53 m²）と欠損部に新材補充（約 35 m²）を行い、発掘調査報告書を発刊した。

◇中城城跡整備委員会

①平成 22 年 7 月 20 日 ②平成 22 年 9 月 21 日

③平成 23 年 3 月 7 日

m)事業名：史跡「玉城城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体：南城市

事業経費：10,000 千円（国 8,000 千円、市 2,000 千円）

事業内容：岩盤強度調査および木製階段設置工事、侵入防止柵設置工事、主郭門
北側城壁の内面及び裏込材の取外し工事を実施した。

◇玉城城跡整備委員会

①平成 22 年 7 月 16 日 ②平成 23 年 3 月 5 日

ウ)歴史の道整備活用推進事業

a)事業名：「ハンタ道及びバンジュ道」(中頭方東海道)整備活用推進事業

事業主体：中城村

事業経費：30,000 千円（国 24,000 千円、県 750 千円、村 5,250 千円）

事業内容：登又喜石原と伊舎堂仁原間の里道において、平成 22 年度整備
工事によって改変を受ける箇所の記録保存のための発掘調査を
実施した。また、出土品の年代測定等の自然科学分析、出土品
である金属製品の保存処理を行った。石敷道の復元工事、転落
防止柵設置も実施した。

◇歴史の道整備委員会

①平成 22 年 9 月 27 日

エ)史跡等保存管理計画策定事業

a)事業名：名勝「東平安名崎」史跡等保存管理計画策定事業

事業主体：宮古島市

事業経費：2,500 千円（国 2,000 千円、県 125 千円、市 375 千円）

事業内容：学識経験者、関連行政担当者、地域の代表者を保存管理策定
委員に委嘱し、保存管理計画の策定に必要な動植物、地質、伝
承、珊瑚礁分布等の調査を実施した。また報告書刊行を行った。

b)事業名：史跡「山田城跡」史跡等保存管理計画策定事業

事業主体：恩納村

事業経費：1,750 千円（国 1,400 千円、村 350 千円）

事業内容：周辺の自然景観を保全しながら史跡の保存、整備、活用を図る
ため、年 3 回保存管理計画の審議を実施した。

◇山田城跡保存管理計画策定委員会

①平成 22 年 7 月 30 日 ②平成 22 年 10 月 7 日

③平成 23 年 2 月 22 日

c) 事業名 : 史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」史跡等保存管理計画策定事業

事業主体 : 今帰仁村

事業経費 : 5,000 千円 (国 4,000 千円、県 250 千円、村 750 千円)

事業内容 : 今帰仁城跡等の文化財調査を賃金職員を雇用して実施し、さらに専門調査員を招聘して文化財調査を実施した。史跡内における管理、現状変更等の整備計画は、整備委員を招聘し検討を行った。

◇今帰仁城跡保存管理計画策定委員会

①平成 22 年 7 月 30 日

②平成 22 年 10 月 8 日

③平成 23 年 2 月 23 日

b) 事業名 : 史跡「伊礼原遺跡」史跡等保存管理計画策定事業

事業主体 : 北谷町

事業経費 : 3,400 千円 (国 2,720 千円、県 170 千円、町 510 千円)

事業内容 : 伊礼原遺跡は区画整理事業区域内に立地しているため、周辺の自然環境を保全するため地形図等の作成、水質・環境調査及び年 2 回保存管理計画策定委員会を実施した。

◇伊礼原遺跡保存管理計画策定委員会

①平成 22 年 8 月 13 日

②平成 23 年 2 月 24 日

②県補助事業

ア) 史跡・名勝の保存修理事業

a) 事業名 : 史跡・ミントングスク管理事業

事業主体 : 南城市

事業経費 : 100 千円 (県 30 千円、市 70 千円)

事業内容 : ○史跡ミントングスクの適切な保存と活用を図るために、文化財指定地域の雑草木除去及び清掃を実施した。

b) 事業名 : 県指定史跡・名勝「首里金城町石畳道」保存修理事業

事業主体 : 那覇市

事業経費 : 600 千円 (県 300 千円、市 300 千円)

事業内容 : ○石の欠損や沈下部分を既存の石畳に準じる工法、材質及び寸法等で保存修理を行う。

○22 年度は石畳道の修繕 A=10.81 m²の範囲で行った。

c) 事業名 : 県指定史跡「山下町第一洞穴遺跡」史跡等買い上げ事業

事業主体 : 那覇市

事業経費：41,025千円(県13,000千円、市28,025千円)

買上実績：245.66㎡

③ 史跡・名勝の現状変更等

- 1) 史跡「勝連城跡」の現状変更(平成22年6月2日付け・22受庁財第4号の279)
うるま市による石積復旧を文化庁が許可。
- 2) 史跡「今帰仁城附シイナ城跡」の現状変更(平成22年6月18日付け・22受庁財第4号の238)
今帰仁村による石垣修復及び発掘調査を文化庁が許可。
- 3) 史跡「糸数城跡」の現状変更(平成22年6月18日付け・22受庁財第4号の283)
南城市による石垣修復及び発掘調査を文化庁が許可。
- 4) 史跡「中城城跡」の現状変更(平成22年6月18日付け・22受庁財第4号の330)
中城村教育委員会による発掘調査及び石積修理を文化庁が許可。
- 5) 史跡「円覚寺跡」の現状変更(平成22年6月18日付け・22受庁財第4号の329)
沖縄県知事による石積復元及び発掘調査を文化庁が許可。
- 6) 史跡「知念城跡」の現状変更(平成22年7月16日付け・22受庁財第4号の484)
南城市教育委員会による石積修復及び発掘調査を文化庁が許可。
- 7) 史跡「玉城城跡」の現状変更(平成22年7月16日付け・22受庁財第4号の538)
南城市教育委員会による発掘調査及び石積修理を文化庁が許可。
- 8) 史跡「首里城跡」の現状変更(平成22年7月16日付け・22受庁財第4号の574)
国営沖縄記念公園事務所(沖縄総合事務局)による配管撤去及び仮設配管設置を文化庁が許可。
- 9) 史跡「中城城跡」の現状変更(平成22年7月26日付け・沖縄県教育委員会指令第22号)
中城護佐丸まつり実行委員会による指定地内における仮設舞台、照明機器等、仮設トイレ及びテントの設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 10) 史跡・名勝「首里金城町石畳道」の現状変更(平成22年8月18日付け・沖縄県教育委員会指令第27号)
NPO法人首里まちづくり研究会による花木類遊覧説明板設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 11) 史跡「浦添城跡」の現状変更(平成22年9月8日付け・22受庁財第4号の927)
浦添市による発掘調査及び樹木伐採を文化庁が許可。
- 12) 史跡「勝連城跡」の現状変更(平成22年9月17日付け・22受庁財第4号の568)
うるま市による発掘調査を文化庁が許可。
- 13) 史跡「首里城跡」の現状変更(平成22年9月17日付け・22受庁財第4号の736)
沖縄県立埋蔵文化財センターによる発掘調査を文化庁が許可。
- 14) 史跡「首里城跡」の現状変更(平成22年9月17日付け・22受庁財第4号の872)
国営沖縄記念公園事業事務所による石積復元及び樹木移植を文化庁が許可。
- 15) 史跡「浦添城跡」の現状変更(平成22年9月17日付け・22受庁財第4号の910)
浦添市教育委員会による発掘調査及びボーリング調査を文化庁が許可。
- 16) 史跡「具志川城跡」の現状変更(平成22年9月17日付け・22受庁財第4号の923)

- 久米島町による発掘調査及び石積修復を文化庁が許可。
- 17) 史跡「糸数城跡」の現状変更（平成22年9月17日付け・22受庁財第4号の1005）
南城市による石積復旧を文化庁が許可。
- 18) 史跡「座喜味城跡」の現状変更（平成22年9月24日付け・沖縄県教育委員会指令第32号）
琉球トライアウトによるイベントに伴う舞台、音響、照明機器、テント等の仮設物の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 19) 史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」の現状変更（平成22年10月5日付け・沖縄県教育委員会指令第33号）
今帰仁村による指定地内における照明機器及び音響機器等の設置を沖縄県教育委員会が許可。
- 20) 史跡「玉城城跡」の現状変更（平成22年10月15日付け・22受庁財第4号の1187）
南城市教育委員会による発掘調査及び石積修理の内容追加を文化庁が許可。
- 21) 史跡「座喜味城跡」の現状変更（平成22年11月5日付け・沖縄県教育委員会指令第35号）
霍田弥和による舞台、音響、照明等の設置を教育委員会が許可。
- 22) 史跡「浦添城跡」の現状変更（平成22年11月19日付け・22受庁財第4号の1434）
浦添市による道路改良及び発掘調査を文化庁が許可。
- 23) 史跡「勝連城跡」の現状変更（平成23年1月21日付け・23受庁財第4号の1839）
うるま市による石積修理を文化庁が許可。
- 24) 史跡「フルスト原遺跡」の現状変更（平成23年1月21日付け・23受庁財第4号の1768）
石垣市教育委員会による発掘調査及び芝張を文化庁が許可。
- 25) 史跡・名勝「首里金城町石畳道」の現状変更（平成23年1月21日付け・沖縄県教育委員会指令第11号）
那覇市教育委員会による石畳道補修工事及び石畳道沿石垣応急処置工事を沖縄県教育委員会が許可。
- 26) 史跡「伊礼原遺跡」の現状変更（平成23年5月20日付け・23受庁財第4号の21）
北谷町による盛土工事及び仮設水路設置工事、既設排水路撤去工事を文化庁が許可。

(2) 天然記念物

①天然記念物緊急調査（国庫補助事業）

事業名：国指定天然記念物緊急調査（キシノウエトカゲ）

事業目的：キシノウエトカゲの生息状況を調査し、具体的な保護策に向けての資料とする。

事業主体：沖縄県

事業総額：3,000千円（国 2,400千円、県 600千円）

調査委員：戸田 守 琉球大学熱帯生物圏研究センター助教
当山 昌直 沖縄県文化振興会史料編集室室長
疋田 努 京都大学理学研究科動物学教室教授
木寺 法子 琉球大学理工学研究科博士研究員
栗田 和紀 京都大学大学院生
城間 恒宏 沖縄県立宮古総合実業高校教諭
藤本 治彦 沖縄県立八重山商工高校教諭
田中 聡 沖縄県立博物館・美術館学芸員
島村 賢正 沖縄県立八重山商工高校校長
久貝 勝盛
岡村 真希 環境省西表野生生物保護センター自然保護監
中村 智映 沖縄こども未来ゾーン運営財団飼育課飼育員
吉岡 由恵 沖縄こども未来ゾーン運営財団飼育課飼育員

事務局：德里 政哉 県教育庁文化課

事業内容：(1)調査地 宮古、八重山地域

(2)調査項目

- a) 生息実態調査
- b) 生活史・習性に関する調査
- c) 遺伝的特性に関する調査
- d) 文献および聞き取り調査

②天然記念物関連事業（県単独事業）

事業名：天然記念物指定対象物件調査

事業目的：沖縄県内の天然記念物、ならびに今後指定し保護すべき貴重動物、植物群落及び地質鉱物などのうち保全上の課題を有すると考えられる物件について、現地調査を行い、これらを保護する上で必要な資料・情報を得る。

事業主体：沖縄県

事業総額：109千円（県109千円）

事務局：德里 政哉 県教育庁文化課

事業内容：(1)調査地 西表島、宮古島

(2)調査項目

- a) 保全上の課題を有する物件の現地調査
- b) 指定候補物件の現地調査

③天然記念物の現状変更等

- 1) 国指定天然記念物現状変更終了報告 (H22. 4. 9、進達)
提出者 (日付) : 沖縄オカヤドカリ取扱商組合 (H21. 12. 3)
内容 (期間) : オカヤドカリ採取 (H21. 2. 20からH21. 9. 30)
許可 : 平成21年2月20日付け20委庁財第4の1891号
- 2) 国指定天然記念物現状変更終了報告 (H22. 4. 1、進達)
提出者 (日付) : 名護市教育委員会教育長比嘉恵一 (H22. 3. 16)
内容 (期間) : ひんぷんガジュマルの生育状況調査 (H21. 7. 17からH22. 3. 31)
許可 : 平成21年7月17日付け21委庁財第4の6616号
- 3) 県指定天然記念物現状変更申請 (H22. 4. 12、許可)
提出者 (日付) 琉球大学熱帯生物圏研究センター准教授戸田守 : (H22. 4. 2)
内容 (期間) : 「クロイワトカゲモドキの生息状況調査および組織採取」
(H22. 4. 12からH25. 3. 31)
- 4) 国指定天然記念物現状変更申請 (H22. 4. 19、進達)
提出者 (日付) : 広島大学大学院教育学研究科講師富川光 (H22. 4. 6)
内容 (期間) : 塩川に生息するヨコエビ類の採取 (許可の日からH23. 3. 31)
許可 : 平成22年5月21日付け22受庁財第4号の134
- 5) 国指定天然記念物現状変更申請 (H22. 4. 21、進達)
提出者 (日付) : 名護市教育委員会教育長比嘉恵一 (H22. 4. 13)
内容 (期間) : ひんぷんガジュマルの整枝剪定 (許可の日からH22. 7. 31)
許可 : 平成22年5月21日付け22受庁財第4号の142
- 6) 県指定天然記念物現状変更申請 (H22. 5. 6、許可)
提出者 (日付) : 琉球大学教育学部講師富永篤 (H22. 4. 20)
内容 (期間) : 「ホルストガエルの組織採取」 (H22. 5. 6からH25. 3. 31)
- 7) 国指定天然記念物現状変更申請 (H22. 5. 6、許可)
申請者 (日付) : 株式会社沖縄環境分析センター代表取締役西銘史則 (H22. 4. 9)
内容 (期間) : 「オカヤドカリ」の生息状況調査 (宮古島市) (許可の日からH22. 5. 15)
許可 : 平成22年5月6日付け沖縄県教育委員会指令第13号
- 8) 県指定天然記念物現状変更申請 (H22. 5. 13、許可)
申請者 (日付) : 沖縄市立郷土博物館館長宮城利旭 (H22. 4. 28)
内容 (期間) : 「イボイモリ」の一時捕獲 (沖縄市、国頭村) (許可の日からH22. 6. 30)
許可 : 平成22年5月13日付け沖縄県教育委員会指令第14号
- 9) 国指定天然記念物現状変更申請 (H22. 5. 17、許可)
申請者 (日付) : 国立感染症研究所細菌第一部室長川端寛樹 (H22. 4. 1)
内容 (期間) : 「セマルハコガメ」の一時捕獲 (竹富町西表) (許可の日からH24. 3. 31)
許可 : 平成22年5月17日付け沖縄県教育委員会指令第15号
- 10) 国指定天然記念物現状変更終了報告 (H22. 5. 18、供覧)
提出者 (日付) : 沖縄県宮古土木事務所長平良和雄 (H22. 3. 31)
内容 (期間) : 「オカヤドカリ」の生息状況調査 (宮古島市) (H21. 6. 9からH22. 3. 31)
許可 : 平成21年6月9日付け沖縄県教育委員会指令第29号
- 11) 国指定天然記念物現状変更終了報告 (H22. 5. 18、供覧)

- 提出者（日付）：沖縄環境分析センター（H22. 4. 23）
内容（期間）：「オカヤドカリ」の生息状況調査（与那国町）
許可：平成21年5月19日付け沖縄県教育委員会指令第18号
- 12) 国指定天然記念物現状変更終了報告（H22. 5. 18、供覧）
提出者（日付）：沖縄環境分析センター（H22. 4. 23）
内容（期間）：「オカヤドカリ」の生息状況調査（国頭村）
許可：平成21年5月22日付け沖縄県教育委員会指令第21号
- 13) 国指定天然記念物現状変更終了報告（H22. 5. 18、供覧）
提出者（日付）：沖縄環境分析センター（H22. 4. 23）
内容（期間）：「オカヤドカリ」の生息状況調査（名護市）
許可：平成21年9月24日付け沖縄県教育委員会指令第32号
- 14) 国指定天然記念物現状変更申請（H22. 6. 9、供覧）
申請者（日付）：沖縄県宮古土木事務所所長平良和雄（H22. 5. 31）
内容（期間）：「オカヤドカリ」の生息状況調査（宮古島市）（許可の日からH23. 3. 31）
許可：宮古島市教育委員会において許可
- 15) 国指定天然記念物現状変更終了報告（H22. 6. 24、供覧）
提出者（日付）：南西環境研究所代表取締役田中順一（H22. 5. 28）
内容（期間）：「セマルハコガメ、キシノウエトカゲ、オカヤドカリ」の生息状況調査（H22. 1. 25からH22. 1. 29）
許可：平成21年12月24日付け沖縄県教育委員会指令第1号
- 16) 国指定天然記念物現状変更終了報告（H22. 6. 24、進達）
提出者（日付）：名護市教育委員会教育長比嘉恵一（H22. 6. 18）
内容（期間）：ひんぷんガジュマルの整枝剪定（H22. 6. 1からH22. 6. 2）
許可：平成22年5月21日付け22受庁財第4号の142
- 17) 国指定天然記念物現状変更申請（H22. 6. 24、許可）
提出者（日付）：南西環境研究所代表取締役田中順一（H22. 6. 15）
内容（期間）：セマルハコガメ、オカヤドカリ、キシノウエトカゲの生息状況調査（許可の日からH23. 3. 31）
許可：平成22年6月24日付け沖縄県教育委員会指令第19号
- 18) 国指定天然記念物（キシノウエトカゲ）の現状変更申請についてH22. 6. 28、進達）
提出者（日付）：沖縄県知事仲井真弘多（H22. 6. 28）
内容（期間）：天然記念物緊急実態調査（県直営事業）（許可の日からH25. 3. 31）
許可：平成22年7月16日付け22受庁財第4号の666
- 19) 国指定天然記念物現状変更申請（H22. 7. 8、許可）
申請者（日付）：名護自然動植物公園株式会社代表取締役社長比嘉茂（H21. 6. 17）
内容（期間）：救護したカラスバトの永年飼養（許可日から滅失するまで）
許可：平成22年7月8日付け沖縄県教育委員会指令第21号
- 20) 国指定天然記念物現状変更協議（H22. 7. 26、進達）
申請者（日付）：環境省那覇自然環境事務所所長（H22. 7. 13）
内容（期間）：「ヤンバルテナガコガネ」生育状況調査（許可日からH22. 10. 31）
許可：平成22年8月17日付け22委庁財第4号の832
- 21) 国指定天然記念物現状変更申請（H22. 8. 17、進達）

- 申請者（日付）：沖縄環境保全研究所代表取締役平良辰二（H22. 7. 22）
内容（期間）：「宮良川のヒルギ林内の生物調査（許可日からH23. 3. 31）
許可：平成22年9月8日付け22受庁財第4号の926
- 22) 国指定天然記念物現状変更申請（H22. 8. 2、許可）
申請者（日付）：名護自然動植物公園株式会社代表取締役社長比嘉茂（H21. 7. 22）
内容（期間）：救護したカラスバトの永年飼養（許可日から滅失するまで）
許可：平成22年8月2日付け沖縄県教育委員会指令第24号
- 23) 国指定天然記念物現状変更申請（H22. 9. 2、許可）
申請者（日付）：沖縄県知事仲井真弘多（H22. 8. 17）
内容（期間）：「オカヤドカリ」生息状況調査（粟國村）（許可日から1年間）
許可：平成22年9月2日付け沖縄県教育委員会指令第29号
- 24) 県指定天然記念物現状変更申請（H22. 9. 13、許可）
申請者（日付）：沖縄防衛局長真部朗（H22. 8. 17）
内容（期間）：「フタオチョウ」、「クロイワトカゲモドキ」の生息状況調査および移動
（宜野湾市）（許可の日からH23. 3. 31）
許可：平成22年9月13日付け沖縄県教育委員会指令第29号
- 25) 国指定天然記念物現状変更申請（H22. 9. 14、進達）
申請者（日付）：沖縄県土木建築部中部土木事務所長新垣秀和（H22. 8. 23）
内容（期間）：「オカヤドカリ」生息状況調査及び移動（浦添市）（許可の日から3年間）
許可：平成22年10月15日付け22受庁財第4号の1186
- 26) 国指定天然記念物現状変更協議（H22. 9. 29、進達）
提出者（日付）：環境省那覇自然環境事務所長（H22. 9. 28）
内容（期間）：「オカヤドカリ」混獲防止協議（同意日からH22. 12. 31）
同意：平成22年10月15日付け22委庁財第4号の1288
- 27) 国指定天然記念物現状変更協議（H22. 9. 30、進達）
提出者（日付）：沖縄森林管理署長平沼孝太（H22. 9. 14）
内容（期間）：「船浦のニッパヤシ群落」植物体採取（同意日からH23年3月）
同意：平成22年11月19日付け22受庁財第4号の1319
- 28) 国指定天然記念物現状変更申請（H22. 10. 20、許可）
提出者（日付）：株式会社イーエーシー代表取締役大石哲也（H22. 10. 1）
内容（期間）：「オカヤドカリ」の生息状況調査（許可の日から1年間）
許可：平成22年10月20日付け沖縄県教育委員会指令第35号
- 29) 県指定天然記念物現状変更申請（H22. 11. 8、許可）
申請者（日付）：沖縄県知事仲井真弘多（H22. 8. 13）
内容（期間）：「国仲御嶽の植物群落」植物伐採（宮古島市）（許可日からH22. 12. 16）
許可：平成22年11月8日付け教育委員会指令第38号
- 30) 天然記念物現状変更申請（H22. 11. 12、許可）
申請者（日付）：沖縄県立博物館・美術館班長濱口寿夫（H22. 11. 4）
内容（期間）：「オカヤドカリ」生息状況調査（中城村、うるま市）（許可の日からH22. 12. 28）
許可：平成22年11月12日付け沖縄県教育委員会指令第36号

- 31) 県指定天然記念物現状変更申請 (H22. 11. 12、許可)
申請者 (日付): 琉球大学熱帯生物圏研究センター准教授戸田守 (H22. 11. 8)
内容 (期間): 「クロイワトカゲモドキ」生息状況調査(許可日から3年間)
許可: 平成22年11月12日付け沖縄県教育委員会指令第37号
- 32) 国指定天然記念物現状変更申請 (H22. 11. 24、許可)
申請者 (日付): 財団法人沖縄県環境科学センター会長翁長助裕 (H22. 10. 12)
内容 (期間): 「オカヤドカリ」の生息状況調査(許可日からH23. 3. 31)
許可: 平成22年11月24日付け沖縄県教育委員会指令第39号
- 33) 国指定天然記念物現状変更申請 (H22. 11. 26、進達)
提出者 (日付): 沖縄県土木建築部北部土木事務所所長新里末守 (H22. 11. 17)
内容 (期間): 「オカヤドカリ」生息状況調査 (許可日から1年間)
許可: 平成22年12月10日付け22受庁財第4号の1633
- 34) 国指定天然記念物現状変更申請 (H22. 12. 2、許可)
申請者 (日付): 有限会社岸本土建代表取締役外間文代 (H22. 11. 9)
内容 (期間): 「オカヤドカリ」の生息状況調査(許可の日からH23. 3. 31)
許可: 平成22年12月2日付け沖縄県教育委員会指令第40号
- 35) 国指定天然記念物現状変更終了報告 (H22. 12. 8、供覧)
提出者 (日付): 沖縄オカヤドカリ取扱商組合長新垣昭 (H22. 12. 8)
内容 (期間): 「オカヤドカリ」捕獲 (許可日からH22. 9. 30)
- 36) 県指定天然記念物現状変更申請 (H22. 12. 10、許可)
申請者 (日付): 麻布大学獣医学部教授宇根有美 (H22. 11. 27)
内容 (期間): 「イボイモリ、ナミエガエル、イシカワガエル、ホルストガエル」一時捕獲 (H22. 12. 30からH23. 3. 31)
許可: 平成22年12月10日付け沖縄県教育委員会指令第41号
- 37) 県指定天然記念物現状変更申請 (H23. 1. 5、許可)
申請者 (日付): 広島大学大学院理学研究科教授住田正幸 (H22. 12. 15)
内容 (期間): 「ホルストガエル」捕獲 (許可日からH24. 9. 30)
許可: 平成23年1月5日付け沖縄県教育委員会指令第2号
- 38) 県指定天然記念物現状変更申請 (H23. 1. 13、許可)
申請者 (日付): 環境省那覇自然環境事務所長 (H22. 12. 24)
内容 (期間): 「キクザトサワヘビ」の一時捕獲 (許可日からH25. 3. 31)
許可: 平成23年1月13日付け沖縄県教育委員会指令第5号
- 39) 国指定天然記念物現状変更申請 (H23. 1. 13、許可)
提出者 (日付): いであ株式会社沖縄支社長西田弘之 (H23. 1. 12)
内容 (期間): 「オカヤドカリ」の生息状況調査(許可日からH23. 12. 31)
許可: 平成23年1月13日付け沖縄県教育委員会指令第6号
- 40) 国指定天然記念物現状変更申請 (H23. 1. 25、進達)
提出者 (日付): 沖縄オカヤドカリ取扱商組合組合長新垣昭 (H23. 1. 18)
内容 (期間): 「オカヤドカリ」の捕獲 (許可の日からH23. 9. 30)
許可: 平成23年2月28日付け22受庁財第4号の1975
- 41) 国指定天然記念物現状変更申請 (H23. 2. 4、進達)
提出者 (日付): 東京海洋大学海洋科学部准教授浜崎活幸 (H23. 1. 26)

- 内容（期間）：「オカヤドカリ」の捕獲（許可の日からH26.3.31）
許可：平成23年3月18日付け22受庁財第4号の1997
- 42) 国指定天然記念物現状変更終了報告（H23.2.14、供覧）
提出者（日付）：東京海洋大学海洋科学部准教授浜崎活幸（H23.1.26）
内容（期間）：「オカヤドカリ」捕獲（H20.4.7からH23.1.26）
- 43) 県指定天然記念物現状変更申請（H23.2.10、許可）
申請者（日付）：航空自衛隊那覇救難隊2等空佐森部樹司（23.1.28）
内容（期間）：「嘉津宇岳安和岳八重岳自然保護区」における工作物等の一時設置（H23.3.1からH24.3.31）
許可：平成23年2月10日付け沖縄県教育委員会指令第13号
- 44) 国指定天然記念物現状変更申請（H23.3.16、進達）
提出者（日付）：沖縄県公営企業管理者企業局長宮城嗣三（H23.2.8）
内容（期間）：「諸志御嶽の植物群落」内への送水管理設（許可の日からH24.3.31）
許可：平成23年4月15日付け受庁財第4号の2201
- 45) 国指定天然記念物現状変更協議（H23.3.25、進達）
提出者（日付）：沖縄森林管理署長佐藤隆幸（H23.2.3）
内容（期間）：「船浦のニッパヤシ群落」内のニッパヤシ種子採取、表示板設置（協議成立日からH26.3.31まで）
- 46) 国指定天然記念物現状変更終了報告（H23.3.30、進達）
提出者（日付）：沖縄県立博物館・美術館博物館班班長濱口寿夫（H22.11.12）
内容（期間）：「オカヤドカリ」生態調査（許可の日からH25.3.31）
- 47) 国指定天然記念物現状変更終了報告（H23.3.30、供覧）
提出者（日付）：浦添市土地開発公社理事長吉村清（H23.2.15）
内容（期間）：「オカヤドカリ」生息状況調査及び移動（H21.3.24からH22.11.19）
- 48) 県指定天然記念物現状変更申請（H23.2.14、許可）
申請者（日付）：粟國村教育委員会（H22.12.24）
内容（期間）：「粟國村字西の御願の植物群落」内の説明板設置（許可日からH23.3.31）
許可：平成23年2月14日付け沖縄県教育委員会指令第18号

5. 埋蔵文化財

(1) 開発協議（文化財の有無及び取扱いの照会・協議）

（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

| 項目 No. | 所在地 | 開発等の種別 | 事業者（上段） 進達者（下段） | 回答内容（所在文化財） |
|-----------|-----|-------------------------------|-------------------------|-------------|
| 1 | 栗国村 | 個人住宅建設 | 個人 栗国村教育委員会 | 東遺物散布地 |
| 2 | 国頭村 | 地上波デジタルテレビ中継所建設 | NECネットエスアイ㈱ 国頭村教育委員会 | 辺戸名遺跡 |
| 3 | 伊江村 | 伊江農業水利事業伊江地下ダム建設に伴う在沖米海兵隊施設移設 | 沖縄総合事務局 伊江村教育委員会 | 親竹鹿化石出土地 |

(2) 文化財保護法第93条及び94条に係る発掘届・通知一覧

（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

| 項目 No. | 遺跡名 | 所在地 | 工事主体 | 工事目的 | 回答内容 |
|-----------|-----------------|------|--------------------|---------|------|
| 1 | 崎原遺跡 | 今帰仁村 | 個人 | 個人住宅 | 発掘調査 |
| 2 | 首里旧金城村跡 | 那覇市 | 個人 | 個人住宅 | 発掘調査 |
| 3 | 浦添市西海岸の石切場跡 | 浦添市 | 沖縄総合事務局 南部国道事務所 | 道路建設 | 発掘調査 |
| 4 | 翁長原遺物散布地(A・C地点) | 豊見城市 | 個人 | 個人住宅 | 慎重工事 |
| 5 | 越来グスク | 沖縄市 | 個人 | 個人住宅 | 発掘調査 |
| 6 | 糸蒲遺跡 | 中城村 | 中城村 | 道路建設 | 発掘調査 |
| 7 | 東遺物散布地 | 栗国村 | 個人 | 個人住宅 | 慎重工事 |
| 8 | ティーラガマ遺物散布地 | 南城市 | 南城市 | 排水路整備工事 | 発掘調査 |
| 9 | 大山前門原第一遺跡 | 宜野湾市 | 個人 | 個人住宅 | 発掘調査 |
| 10 | 大山前門原第一遺跡 | 宜野湾市 | 個人 | 個人住宅 | 発掘調査 |
| 11 | 中山小禄原遺跡 | 南城市 | 個人 | 個人住宅 | 発掘調査 |
| 12 | 仲宗根貝塚 | 沖縄市 | 個人 | 個人住宅 | 発掘調査 |
| 13 | 高安古島遺跡 | 豊見城市 | 個人 | 共同住宅 | 慎重工事 |
| 14 | 宇茂佐古島遺跡 | 名護市 | 個人 | 集合住宅 | 慎重工事 |
| 15 | 小禄村跡 | 那覇市 | 那覇市 | 公園造成 | 発掘調査 |
| 16 | 平安山原A遺跡 | 北谷町 | 北谷町 | 土地区画整理 | 発掘調査 |
| 17 | 安富見祖古島遺跡 | 恩納村 | 恩納村 | ダム建設 | 発掘調査 |
| 18 | 知名原遺跡 | 南城市 | 個人 | 個人住宅 | 発掘調査 |

| 項目 No. | 遺跡名 | 所在地 | 工事主体 | 工事目的 | 回答内容 |
|-----------|----------------------|------|----------------------|-----------|------|
| 19 | 浦添市西海岸の石切場跡 | 浦添市 | 沖縄総合事務局 那覇港湾・空港整備事務所 | 道路建設 | 発掘調査 |
| 20 | 我那覇後原遺物散布地 | 豊見城市 | レオパレス21(株) | 宅地造成 | 慎重工事 |
| 21 | 熱田貝塚 | 恩納村 | 個人 | 個人住宅 | 工事立会 |
| 22 | 大首原遺跡 | 今帰仁村 | 今帰仁村 | 公園造成 | 慎重工事 |
| 23 | 我那覇後原遺物散布地 | 豊見城市 | レオパレス21(株) | 宅地造成 | 慎重工事 |
| 24 | 坂多原遺跡物散布地 (A地点) | 八重瀬町 | 社会福祉法人転生会 | 増築工事 | 立会工事 |
| 25 | 翁長原遺物散布地 (A地点) | 豊見城市 | 個人 | 個人住宅 | 慎重工事 |
| 26 | 重修石火矢橋碑文台座 豊見城東原古墓群 | 豊見城市 | 南部広城市町村圏事業組合 | 火葬場 | 発掘調査 |
| 27 | 上田古島遺跡 | 豊見城市 | 個人 | 個人住宅 | 慎重工事 |
| 28 | 翁長原遺物散布地 (A地点) | 豊見城市 | 個人 | 個人住宅 | 慎重工事 |
| 29 | 鏡波後原遺物散布地 | 豊見城市 | アトリエPAD | 事務所建設 | 慎重工事 |
| 30 | 赤嶺配水池の壕群、字宇栄原の壕 | 那覇市 | 那覇市 | 特殊地下壕対策工事 | 工事立会 |
| 31 | 屋部貝塚 | 名護市 | 個人 | 個人住宅 | 工事立会 |
| 32 | タシーモー南方遺跡、ウガンヒラー南方遺跡 | 読谷村 | 在沖米陸基地管理本部沖縄施設営繕局 | パーキング場・建物 | 発掘調査 |
| 33 | 渡口・和仁屋近世墓群 | 北中城村 | 沖縄県 | 道路建設 | 発掘調査 |
| 34 | 安和貝塚 | 名護市 | 個人 | 倉庫新築工事 | 慎重工事 |
| 35 | 高摩文仁グスク | 糸満市 | 沖縄県土木建築部 南部土木事務所 | 公園整備 | 工事立会 |

(3) 文化財保護法第96条及び97条に係る遺跡発見届・通知一覧

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

| 項目 No. | 発見地 | 遺跡名 | 届出・通知者 | 原因 | 措置状況 |
|-----------|-----------|------------|------------------|------------|------|
| 1 | 宮古島市城辺字大原 | 福里・大原の古墓 | 宮古島市長 | 太陽光発電施設所建設 | 発掘調査 |
| 2 | 浦添市勢理客 | 勢理客城門原近世墓群 | 沖縄食糧(株) 代表取締役 | 駐車場造成工事 | 発掘調査 |
| 3 | 那覇市泉崎 | 湧田村跡 | 那覇市長 | 庁舎建設工事 | 発掘調査 |
| 4 | 那覇市鏡水地内 | 鏡水箕隅原古墓群 | 沖縄総合事務局 南部国道事務所長 | 道路建設工事 | 発掘調査 |

(4) 文化財保護法第102条に係る埋蔵物の鑑査及び文化財認定一覧

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

| 項目 No. | 遺 跡 名 | 発見年月日 | 発 見 者 | 発見地の 所有者 | 主な埋蔵文化財 (物件の数量) | 保管場所 |
|-----------|----------------------|------------|----------------|-------------------|---|------------|
| 1 | 島添大里グスク | H22. 3. 25 | 南城市教育委員会教育長 | 南城市長 | 陶磁器 (白磁、青磁、褐釉陶器、染付、沖縄製陶器) 自然遺物 (海産貝、魚骨、獣骨) {15箱} | 南城市教委 |
| 2 | 大保川上流域の生産遺跡群 | H22. 3. 19 | 大宜味村教育委員会教育長 | 内閣府沖縄総合事務局北部ダム事務所 | 陶磁器類28点、鉄製品36点、金属製品7点、ガラス製品13点、ビール瓶 (欠片含む) 22点、ガラス瓶3点 | 大宜味村教委 |
| 3 | 今帰仁城跡 (今泊4789番地他1件) | H22. 3. 31 | 今帰仁村教育委員会教育長 | 今帰仁村長 | 陶磁器片、自然遺物、ガラス製ビーズ、古銭ほか {11箱} | 今帰仁村教委 |
| 4 | 佐敷上グスク | H22. 3. 19 | 南城市教育委員会教育長 | 南城市長 | 陶磁器片 {1箱} | 南城市教委 |
| 5 | 玉城城跡 | H22. 3. 26 | 南城市教育委員会教育長 | 南城市長 | 土器、陶磁器、類須恵器、古銭、獣骨等 {1箱} | 南城市教委 |
| 6 | フェンサグスク貝塚 | H22. 2. 19 | 札幌大学文学部教授 高宮広土 | 個人 | 土器、石器、陶磁器、貝製品、貝片、骨等 {11箱} | 札幌大学/糸満市教委 |
| 7 | 浦添城跡 | H22. 3. 31 | 浦添市教育委員会教育長 | 浦添市長 | 瓦、陶磁器、土器、土壌サンプルなど {10箱} | 浦添市教委 |
| 8 | 浦添城跡 | H22. 3. 31 | 浦添市教育委員会教育長 | 浦添市長 | 瓦、陶磁器、金属製品、獣骨など {170箱} | 浦添市教委 |
| 9 | 宇江城城跡 | H22. 3. 31 | 久米島町教育委員会教育長 | 久米島町 | 青磁 (壺・碗) {1箱} | 久米島町教委 |
| 10 | 具志川城跡 | H22. 3. 31 | 久米島町教育委員会教育長 | 久米島町 | 青磁、土器、自然遺物 (貝:ヤコウガイ、獣骨) {1箱} | 久米島町教委 |
| 11 | 普天間古集落遺跡・普天間フィーラー古墓群 | H22. 3. 31 | 宜野湾市教育委員会教育長 | 沖縄防衛局局長 | 沖縄産陶器片、本土産磁器片、石器片、獣骨 {80箱} | 宜野湾市教委 |
| 12 | 大山前門原第一遺跡 | H22. 3. 31 | 宜野湾市教育委員会教育長 | 個人 | 土器、青磁、白磁、瓦、本土産陶磁器、沖縄産陶器、獣骨片など {2箱} | 宜野湾市教委 |
| 13 | 知花古窯跡 | H22. 3. 27 | 沖縄市教育委員会教育長 | 個人 | 陶器片など {7箱}、土嚢袋25袋分 | 沖縄市教委 |
| 14 | 大湾アガリヌウガン遺跡 | H22. 3. 31 | 読谷村教育委員会教育長 | 大湾区 | 磁器 (中国産白磁、青磁)、陶器 (壺屋焼、喜名焼)、土器、石器、ガラス瓶、馬の骨、犬の骨 {11箱} | 読谷村教委 |
| 15 | 首里旧金城村跡 | H22. 4. 23 | 那覇市教育委員会教育長 | 個人 | 中国産青磁・青花、銭貨、沖縄産陶器、瓦など {11箱} | 那覇市教委 |
| 16 | 羽地間切番所跡 | H22. 5. 6 | 名護市教育委員会教育長 | 個人 | 陶器片54点、磁器片14点、染付片11点、瓦344点、ガラス片10点、金属片2点 | 名護市教委 |
| 17 | 武芸洞遺跡 | H22. 5. 28 | 沖縄県教育委員会教育長 | 那南都代表取締役 | 縄文土器、石器、人骨、獣骨、貝 {5箱} | 県立博物館・美術館 |

| 項目 No. | 遺跡名 | 発見年月日 | 発見者 | 発見地の 所有者 | 主な埋蔵文化財(物件の数量) | 保管場所 |
|-----------|-----------|-------------|--------------------------|-------------|--|------------------|
| 18 | 平安山原A遺跡 | H21. 3. 27 | 北谷町教育委員会教育長 | 北谷町長 | 陶磁器類、土器、石器、獣骨、貝殻など(10箱) | 北谷町教委 |
| 19 | 平安山原A遺跡 | H22. 2. 25 | 北谷町教育委員会教育長 | 北谷町長 | 陶磁器類、土器、石器、獣骨、貝殻など(197箱) | 北谷町教委 |
| 20 | 平安山原C遺跡 | H21. 9. 30 | 北谷町教育委員会教育長 | 北谷町長 | 陶磁器類、土器、石器、獣骨、貝殻など(1662箱) | 北谷町教委 |
| 21 | 平安山原B遺跡 | H22. 2. 19 | 北谷町教育委員会教育長 | 北谷町長 | 陶磁器類、土器、石器、獣骨、貝殻など(150箱) | 北谷町教委 |
| 22 | 平安山原B遺跡 | H21. 12. 18 | 北谷町教育委員会教育長 | 北谷町長 | 陶磁器類、土器、石器、獣骨、貝殻など(94箱) | 北谷町教委 |
| 23 | 摩文仁ハンタ原遺跡 | H22. 6. 29 | 土井ヶ浜遺跡・人類ミュージアム館長 松下孝幸 | 糸満市長 | 貝製品、古人骨など(5箱) | 土井ヶ浜遺跡・人類ミュージアム館 |
| 24 | 小堀原遺跡 | H21. 2. 20 | 北谷町教育委員会教育長 | 北谷町長 | 陶磁器類、土器、石器、獣骨、貝殻など(212箱) | 北谷町教委 |
| 25 | 小堀原遺跡 | H21. 3. 31 | 北谷町教育委員会教育長 | 北谷町長 | 陶磁器類、土器、石器、獣骨、貝殻など(414箱) | 北谷町教委 |
| 26 | 喜田盛遺跡 | H22. 8. 6 | 沖縄県教育委員会教育長 | 沖縄県知事 | 陶磁器、土器、獣骨、貝、人骨(20箱) | 県立埋蔵文化財センター |
| 27 | 網取遺跡 | H21. 9. 23 | 東海大学文学部教授 北條芳隆 | 竹富町長 | 陶磁器(中・近世)、貝類、獣骨・魚骨(先史時代、中・近世)(15箱) | 東海大学文学部教授北條芳隆 |
| 28 | 中山小禄原遺跡 | H22. 7. 29 | 南城市教育委員会教育長 | 個人 | 土器、陶磁器、自然遺物、鉄片など(1箱) | 南城市教委 |
| 29 | 大山前門原第一遺跡 | H22. 7. 30 | 宜野湾市教育委員会教育長 | 個人 | 土器、青磁、白磁、瓦、本土産陶磁器、沖縄産陶器、古銭、貝、獣骨片など(1箱) | 宜野湾市教委 |
| 30 | 長根原遺跡 | H22. 8. 22 | 沖縄国際大学総合文化学部社会文化学科教授 上原静 | 今帰仁村長 | 土器片2464点、石器40点、焼土907点、礫2011点 | 沖縄国際大学教授上原静 |
| 31 | 船越原遺跡 | H22. 8. 14 | 沖縄県教育委員会教育長 | 沖縄県知事 | 陶磁器、瓦、石器など(3箱) | 県立埋蔵文化財センター |
| 32 | 円覚寺跡 | H22. 8. 31 | 沖縄県教育委員会教育長 | 沖縄県知事 | 陶磁器、瓦、埴、金属製品、銭貨、獣魚骨、貝類など(16箱) | 県立埋蔵文化財センター |
| 33 | 大山前門原第一遺跡 | H22. 8. 30 | 宜野湾市教育委員会教育長 | 個人 | 土器、青磁、沖縄産陶器、白磁、瓦、本土産陶磁器、貝、獣骨片など(19箱) | 宜野湾市教委 |
| 34 | 島添大里グスク | H22. 9. 30 | 南城市教育委員会教育長 | 南城市 | 陶磁器、自然遺物(2箱) | 南城市教委 |
| 35 | ナガラ原東貝塚 | H22. 9. 7 | 熊本大学教授 木下尚子 | 個人 | 土器、石器、貝製品、自然遺物(23箱) | 熊本大学教授木下尚子 |

| 項目 No. | 遺跡名 | 発見年月日 | 発見者 | 発見地の 所有者 | 主な埋蔵文化財 {物件の数量} | 保管場所 |
|-----------|------------------|-------------|---------------------|-------------|--|-------------------|
| 36 | 島添大里グスク | H22. 9. 30 | 南城市教育委員会教育長 | 南城市 | 陶磁器、自然遺物 { 2箱 } | 南城市教委 |
| 37 | ナガラ原東貝塚 | H22. 9. 7 | 熊本大学 教授 木下尚子 | 個人 | 土器、石器、貝製品、自然遺物 {23箱} | 熊本大学教授 木下尚子 |
| 38 | 知名原遺跡 | H22. 10. 19 | 南城市教育委員会教育長 | 個人 | 陶磁器、土器、鉄片、自然遺物など { 7箱 } | 南城市教委 |
| 39 | 糸蒲遺跡 | H22. 10. 19 | 中城村教育委員会教育長 | 中城村 | 土器片、外国産陶磁器、国内産陶磁器、鉄製品、獣骨、貝殻遺骸、石製品 { 8箱 } | 中城村教委 |
| 40 | フェンサグスク貝塚 | H22. 9. 17 | 札幌大学文学部 教授 高宮 広土 | 個人 | 土器、石器、貝製品、陶磁器、貝片、骨など {12箱} | 札幌大学文学部 教授高宮広土 |
| 41 | 伊佐上原古墓群 | H22. 12. 9 | 宜野湾市教育委員会教育長 | 個人 | 厨子甕、人骨 { 1箱 } | 宜野湾市教委 |
| 42 | 志多伯遺跡 | H22. 12. 14 | 八重瀬町教育委員会教育長 | 八重瀬町長 | 陶磁器類 (中国産陶磁器、沖縄産陶磁器)、土器、石器、自然遺物 { 1箱 } | 八重瀬町教委 |
| 43 | 平安山原A遺跡 | H22. 12. 10 | 北谷町教育委員会教育長 | 北谷町長 | 陶磁器類、土器、石器、瓦、獣骨、貝殻など {106箱} | 北谷町教委 |
| 44 | 湧田村跡 | H23. 1. 22 | 那覇市教育委員会教育長 | 那覇市長 | 中国産陶磁器、本土産陶磁器、沖縄産陶器、瓦、煙管、銭貨、獣骨、貝など {200箱} | 那覇市教委 |
| 45 | 前田・経塚近世墓群 (大名地区) | H23. 1. 11 | 那覇市教育委員会教育長 | 浦添市長 | 蔵骨器、中国産陶磁器、本土産陶磁器、沖縄産陶磁器、煙管、簪、銭貨、人骨など {200箱} | 那覇市教委 |
| 46 | 読谷村楚辺290番地ほか | H22. 3. 29 | 読谷村教育委員会教育長 | 沖縄防衛局局長 | 土器、石器、陶器、磁器 {11箱} | 読谷村教委 |
| 47 | 首里城跡内 | H23. 2. 25 | 沖縄県教育委員会教育長 | 国土交通省 | 陶磁器、土器、獣骨、貝 {100箱} | 県立埋蔵文化財センター |
| 48 | 小禄村跡 (石畳道) | H23. 2. 18 | 那覇市教育委員会教育長 | 那覇市長 | 陶磁器破片、金属製品、ガラス製品、石製品など {20箱} | 那覇市教委 |
| 49 | 小禄村跡 (屋敷跡) | H23. 1. 31 | 那覇市教育委員会教育長 | 那覇市長 | 陶磁器破片、金属製品、ガラス製品、石製品など {42箱} | 那覇市教委 |
| 50 | 前田・経塚近世墓群 | H23. 2. 28 | 浦添市教育委員会教育長 | 浦添市長 | 蔵骨器270基、陶磁器、青銅製品、埋葬人骨など {30箱} | 浦添市教委 |
| 51 | 中城御殿 | H23. 2. 28 | 沖縄県教育委員会教育長 | 沖縄県知事 | 陶磁器、土器、瓦、漆製品、金属製品、銭貨、玉製品、貝製品、獣骨、貝類 {55箱} | 県立埋蔵文化財センター |
| 52 | ナイクブ古墓群 | H23. 2. 11 | 那覇市教育委員会教育長 | 那覇市長 | ズシガメ、陶磁器破片など {50箱} | 那覇市教委 |

| 項目 No. | 遺 跡 名 | 発見年月日 | 発 見 者 | 発見地の 所有者 | 主な埋蔵文化財（物件の数量） | 保管場所 |
|-----------|----------|------------|-------------|-------------|---|-------------|
| 53 | 浦添御殿 | H23. 2. 22 | 浦添市教育委員会教育長 | 浦添市長 | 蔵骨器、陶器など {5箱} | 浦添市教委 |
| 54 | 普天間古集落など | H23. 3. 28 | 沖縄県教育委員会教育長 | 沖縄防衛局局長 | 土器、石器、陶磁器、石製品、木製品、金属製品、銭貨、獣魚骨、貝、石材 {103箱} | 県立埋蔵文化財センター |

(5) 文化財保護法第107条に係る出土文化財譲与一覧

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

| 項目 No. | 遺 跡 名 | 発見年月日 | 発 見 者 | 発見地の 所有者 | 主な埋蔵文化財 | 保管場所 |
|-----------|------------|-------------|--------------|-------------|--|--------|
| 1 | 沢岬端川原近世墓群 | H21. 10. 30 | 浦添市教育委員会教育長 | 浦添市長 | 厨子甕など {10箱} | 浦添市教委 |
| 2 | 嘉数前原遺物散布地 | H21. 10. 21 | 豊見城市教育委員会教育長 | 嘉数自治会 | 陶器片・磁器片・金属製品・銭貨・ガラス製品・自然遺物・石製品・古瓦 {1箱} | 豊見城市教委 |
| 3 | 長堂古島遺跡 | H21. 10. 29 | 豊見城市教育委員会教育長 | 個人 | 土器片・陶器片・磁器片・金属製品・自然遺物・古瓦 {1箱} | 豊見城市教委 |
| 4 | 長堂山垣原遺跡散布地 | H21. 11. 6 | 豊見城市教育委員会教育長 | 個人 | 陶器片・磁器片・自然遺物 {1箱} | 豊見城市教委 |
| 5 | 保栄茂古島遺跡 | H22. 1. 6 | 豊見城市教育委員会教育長 | 保栄茂自治会 | 土器片・陶器片・金属製品、自然遺物・石製品・戦争遺跡 {1箱} | 豊見城市教委 |
| 6 | 田頭東原遺物散布地 | H21. 12. 24 | 豊見城市教育委員会教育長 | 田頭自治会 | 土器片・陶器片・磁器片・金属製品・自然遺物・石製品 {4箱} | 豊見城市教委 |
| 7 | 前田・経塚近世墓群 | H22. 2. 26 | 浦添市教育委員会教育長 | 浦添市長 | 蔵骨器 {150基}・陶磁器・青銅製品・埋葬人骨など {130箱} | 浦添市教委 |
| 8 | 浦添城跡 | H22. 3. 31 | 浦添市教育委員会教育長 | 浦添市長 | 瓦・陶磁器・金属製品・獣骨等 {170箱} | 浦添市教委 |

(6) 文化財保護法第92条第1項に係る発掘調査の届出一覧

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

| 項目 No. | 遺 跡 名 | 所 在 市町村 | 調査主体・調査担当者 | 調 査 目 的 | 遺跡の主な時期・ 性格及び遺構等 |
|-----------|-----------|------------|--------------------|---------|---------------------|
| 1 | 摩文仁ハンタ原遺跡 | 糸満市 | 人類学ミュージアム館長 松下 孝幸 | 学術研究 | 縄文・墓 |
| 2 | 南嶺の長墓 | 宮古島市 | 西九州大学 教授 マーク・ハドソン | 学術研究 | 先史時代・貝塚 |
| 3 | ナガラ原東貝塚 | 伊江村 | 熊本大学 教授 木下 尚子 | 学術研究 | 沖縄貝塚時代後期・貝塚 |
| 4 | 長根原遺跡 | 今帰仁村 | 沖縄国際大学 教授 上原 静 | 学術研究 | 縄文、平安・貝塚 |
| 5 | 網取遺跡 | 竹富町 | 東海大学 主任教授 北條 芳隆 | 学術研究 | 先史時代、近代・水田跡 |
| 6 | フェンサグスク貝塚 | 糸満市 | 札幌大学 教授 高宮 広士 | 学術研究 | 平安、中世・貝塚 |
| 7 | 安良村跡 | 石垣市 | 石井 龍太 | 学術研究 | 近代・集落跡 |
| 8 | 浦底遺跡 | 宮古島市 | 琉球大学大学院 非常勤講師 土肥直美 | 学術研究 | 弥生、古墳、奈良、平安・貝塚 |

(7) 文化財保護法第99条第1項に基づく発掘調査の報告一覧

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

| 項目 No. | 遺跡名 | 所在 市町村 | 調査主体 | 調査担当者 | 調査目的 | 遺跡の主な 時期・性格 |
|-----------|---------------------------|-----------|-------------|---------------------|-----------------|------------------|
| 1 | 首里旧金城村跡 | 那覇市 | 那覇市教育委員会 | 知念政樹 仲宗根 啓 | 個人住宅 | 中世、近世、近代・遺物包蔵地 |
| 2 | 羽地間切番所跡 | 名護市 | 名護市教育委員会 | 松原彰子 | 住宅 | 中世、近世・番所跡 |
| 3 | 武芸洞遺跡 | 南城市 | 県立博物館・美術館 | 山崎真治 | 学術 | 縄文、弥生、グスク・散布地 |
| 4 | 大山前門原第一遺跡 | 宜野湾市 | 宜野湾市教育委員会 | 伊藤圭 | 個人住宅 | グスク、近世・集落跡 |
| 5 | 越来グスク | 沖縄市 | 沖縄市教育委員会 | 比嘉清和 | 個人住宅 | グスク・グスク跡 |
| 6 | 島添大里グスク | 南城市 | 南城市教育委員会 | 山里昌次 | 保存目的による範囲内容確認調査 | グスク・グスク跡 |
| 7 | 平安山原A遺跡 | 北谷町 | 北谷町教育委員会 | 松原哲志 | 区画調整 | 弥生、グスク、近世・グスク跡 |
| 8 | 前田経塚近世墓群(経塚南小島原・経塚下平良大名原) | 浦添市 | 浦添市教育委員会 | 安斎英介 | 区画調整 | 近世・墓 |
| 9 | 喜田盛遺跡 | 石垣市 | 県立埋蔵文化財センター | 瀬戸哲也 | 道路 | グスク、近世・集落跡 |
| 10 | 大山前門原第一遺跡 | 宜野湾市 | 宜野湾市教育委員会 | 伊藤圭 | 個人住宅 | グスク、近世・集落跡 |
| 11 | 中山小禄原遺跡 | 南城市 | 南城市教育委員会 | 山里昌次 | 個人住宅 | 縄文、中世・散布地 |
| 12 | 前田・経塚近世墓群(大名地区) | 那覇市 | 那覇市教育委員会 | 仲宗根 啓 | 道路 | 近世・墓 |
| 13 | 糸蒲遺跡 | 中城村 | 中城村教育委員会 | 新城卓也 | 公園造成 | グスク・集落跡 |
| 14 | 普天間古集落遺跡 普天間石川原遺跡 | 宜野湾市 | 県立埋蔵文化財センター | 新垣力 知念隆博 金城貴子 | 病院 | 縄文、中世、近世・集落跡 |
| 15 | 浦添市西海岸の石切場跡(港川地区) | 浦添市 | 浦添市教育委員会 | 渡久地政嗣 | 道路 | 近代・生産遺跡 |
| 16 | 字大嶺村跡 | 那覇市 | 那覇市教育委員会 | 北條真子 | 空港 | 近代・集落跡 |
| 17 | 大湾アガリヌウガン遺跡 | 読谷村 | 読谷村教育委員会 | 小原裕也 | 保存目的による範囲内容確認調査 | グスク・集落跡 |
| 18 | 中城御殿跡 | 那覇市 | 県立埋蔵文化財センター | 仲座久宜 | 保存目的による範囲内容確認調査 | グスク、近世・御殿跡 |
| 19 | 知名原遺跡 | 南城市 | 南城市教育委員会 | 山里昌次 | 個人住宅 | 貝塚時代後期・散布地 |
| 20 | 平安山原A遺跡 | 北谷町 | 北谷町教育委員会 | 山城安生 | 区画調整 | 弥生、中世、近世、近現代・集落跡 |
| 21 | 安富祖古島遺跡ほか | 恩納村 | 恩納村教育委員会 | 崎原恒寿 | ダム | 近世、近現代・生産遺跡 |
| 22 | ナイクブ古墓群 | 那覇市 | 那覇市教育委員会 | 内間靖 | 公園造成 | 近代・墓 |
| 23 | 仲宗根貝塚 | 沖縄市 | 沖縄市教育委員会 | 比嘉清和 | 個人住宅 | 縄文、中世・貝塚 |
| 24 | 浦添市西海岸の石切場跡(港川地区) | 浦添市 | 浦添市教育委員会 | 仲宗根久里子 | 道路 | 近代・生産遺跡 |
| 25 | 勢理客城門原近世墓群 | 浦添市 | 浦添市教育委員会 | 宮里信勇 | その他(駐車場) | 近世・墓 |
| 26 | 湧田村跡 | 那覇市 | 那覇市教育委員会 | 島弘 | その他(庁舎建設) | 近世、近代・屋敷跡 |
| 27 | 南山グスク | 糸満市 | 糸満市教育委員会 | 大城一成 | 保存目的による範囲内容確認調査 | グスク・グスク等 |

| 項目 No. | 遺跡名 | 所在地 市町村 | 調査主体 | 調査担当者 | 調査目的 | 遺跡の主な 時期・性格 |
|-----------|-------------------------|------------|-------------|--------------|-----------------|----------------|
| 28 | 志多伯遺跡 | 八重瀬町 | 八重瀬町教育委員会 | 金城達 | 公園造成 | グスク・集落跡 |
| 29 | 小祿村跡（屋敷跡・石畳道） | 那覇市 | 那覇市教育委員会 | 當銘由嗣 | 公園造成 | 近世、近代・集落跡 |
| 30 | 浦添御殿の墓 | 浦添市 | 浦添市教育委員会 | 仁王浩司 | 遺跡整備 | 近世・墓 |
| 31 | ティーラガマ遺物散布地 | 南城市 | 南城市教育委員会 | 山里昌次 大城秀子 | 農業関連 | 縄文、近世・遺物散布地 |
| 32 | 佐敷上グスク | 南城市 | 南城市教育委員会 | 城間宣子 | 保存目的による範囲内容確認調査 | グスク・グスク等 |
| 33 | 島添大里グスク | 南城市 | 南城市教育委員会 | 山里昌次 | 保存目的による範囲内容確認調査 | グスク・グスク等 |
| 34 | 大山加良当原第四遺跡（普天間飛行場内） | 宜野湾市 | 県立埋蔵文化財センター | 大堀皓平 | 保存目的による範囲内容確認調査 | 縄文、グスク、近世・生産遺跡 |
| 35 | 大首原遺跡 | 今帰仁村 | 今帰仁村教育委員会 | 玉城靖 | 公園造成 | グスク・集落跡 |
| 36 | 西長浜原遺跡 | 今帰仁村 | 今帰仁村教育委員会 | 玉城靖 | 観光開発 | 縄文・集落跡 |
| 37 | タシーモー南方遺跡 ウガンヒラー南方遺跡 | 読谷村 | 読谷村教育委員会 | 小原裕也 | その他の開発 | 縄文・集落跡 |

(8) 埋蔵文化財発掘調査・分布調査事業一覧（文化財保護担当部局予算計上）

（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

| 項目 No. | 事業名 | 所在地 | 調査主体 | 目的 | 経費(千円) | 財源(%) |
|-----------|-------------------|--------|-------------|--------------|--------|----------------|
| 1 | 首里旧金城村跡 | 那覇市 | 那覇市教育委員会 | 発掘調査 | 402 | 国80、市20 |
| 2 | 壺屋古窯群ほか2遺跡 | 那覇市 | 那覇市教育委員会 | 資料整理 | 4,284 | 国80、市20 |
| 3 | 越来グスク | 沖縄市 | 沖縄市教育委員会 | 発掘調査 | 18,069 | 国80、市20 |
| 4 | 仲宗根貝塚 | 沖縄市 | 沖縄市教育委員会 | 発掘調査 | 6,905 | 国80、市20 |
| 5 | 知名原遺跡 | 南城市 | 南城市教育委員会 | 発掘調査 | 1,469 | 国80、市20 |
| 6 | 中山小祿原遺跡 | 南城市 | 南城市教育委員会 | 発掘調査 | 452 | 国80、市20 |
| 7 | 新原貝塚 | 南城市 | 南城市教育委員会 | 資料整理 | 4,589 | 国80、市20 |
| 8 | 基地内遺跡 | 宜野湾市 | 県立埋蔵文化財センター | 確認調査 資料整理 | 38,276 | 国80、県20 |
| 9 | 具志川島遺跡群 | 伊是名村 | 県立埋蔵文化財センター | 資料整理 | 7,400 | 国80、県20 |
| 10 | 県内遺跡 | 渡嘉敷村ほか | 県立埋蔵文化財センター | 確認調査 | 3,761 | 国80、県20 |
| 11 | 戦争遺跡 | 石垣市ほか | 県立埋蔵文化財センター | 確認調査 | 3,900 | 国80、県20 |
| 12 | 武芸洞遺跡 | 南城市 | 沖縄県立博物館・美術館 | 確認調査 | 1,430 | 県100 |
| 13 | 普天間飛行場内遺跡 | 宜野湾市 | 宜野湾市教育委員会 | 確認調査 資料整理 | 79,000 | 国80、市20 |
| 14 | キャンプ・シュワブ内遺跡ほか1遺跡 | 名護市 | 名護市教育委員会 | 確認調査 | 15,542 | 国80、市20 |
| 15 | 南山城跡 | 糸満市 | 糸満市教育委員会 | 確認調査 | 4,504 | 国80、県4.5、市15.5 |
| 16 | 伊波貝塚他1遺跡 | うるま市 | うるま市教育委員会 | 確認調査 | 3,009 | 国80、県4.5、市15.5 |
| 17 | 西里ヤーバル洞B | 宮古島市 | 宮古島市教育委員会 | 確認調査 | 600 | 国80、県4.5、市15.5 |

| 項目 No. | 事業名 | 所在地 | 調査主体 | 目的 | 経費(千円) | 財源(%) |
|-----------|-------------|--------|-------------|--------------|--------|--------------------|
| 18 | 島添大里グスク | 南城市 | 南城市教育委員会 | 確認調査 資料整理 | 4,604 | 国80、市20 |
| 19 | 佐敷上グスク | 南城市 | 南城市教育委員会 | 確認調査 資料整理 | 6,066 | 国80、市20 |
| 20 | 知名グスク | 南城市 | 南城市教育委員会 | 資料整理 | 905 | 国80、市20 |
| 21 | 西長浜原遺跡 | 今帰仁村 | 今帰仁村教育委員会 | 確認調査 資料整理 | 2,000 | 国80、県4.5、 村15.5 |
| 22 | 大首原遺跡 | 今帰仁村 | 今帰仁村教育委員会 | 確認調査 資料整理 | 2,800 | 国80、県4.5、 村15.5 |
| 23 | 百按司墓 | 今帰仁村 | 今帰仁村教育委員会 | 確認調査 | 4,200 | 国80、県4.5、 村15.5 |
| 24 | 崎原遺跡 | 今帰仁村 | 今帰仁村教育委員会 | 確認調査 資料整理 | 300 | 村100 |
| 25 | 恩納村内遺跡発掘調査等 | 恩納村 | 恩納村教育委員会 | 確認調査 資料整理 | 3,000 | 国80、県4.5、 村15.5 |
| 26 | 大湾アガリヌウガン遺跡 | 読谷村字大湾 | 読谷村教育委員会 | 確認調査 資料整理 | 4,393 | 国80、村20 |
| 27 | 小那覇屋取散布地 | 中城村 | 中城村教育委員会 | 確認調査 | 1,765 | 国80、村20 |
| 28 | 平田原散布地 | 中城村 | 中城村教育委員会 | 確認調査 | 1,257 | 国80、村20 |
| 29 | 永田原散布地A | 中城村 | 中城村教育委員会 | 確認調査 | 65 | 国80、村20 |
| 30 | 台グスク遺跡 | 中城村 | 中城村教育委員会 | 確認調査 | 1,913 | 国80、村20 |
| 31 | 円覚寺跡 | 那覇市 | 県立埋蔵文化財センター | 発掘調査 資料整理 | 17,677 | 国80、県20 |
| 32 | 伊江殿内庭園 | 那覇市 | 那覇市教育委員会 | 発掘調査 資料整理 | 5,978 | 国80、県3、 市17 |
| 33 | 識名園 | 那覇市 | 那覇市教育委員会 | 資料整理 | 3,580 | 国80、県3、 市17 |
| 34 | フルスト原遺跡 | 石垣市 | 石垣市教育委員会 | 発掘調査 資料整理 | 1,562 | 国80、県2.5、 市17.5 |
| 35 | 浦添城跡 | 浦添市 | 浦添市教育委員会 | 発掘調査 資料整理 | 38,022 | 国80、県2.5、 市17.5 |
| 36 | 具志川城跡 | 糸満市 | 糸満市教育委員会 | 発掘調査 資料整理 | 16,004 | 国80、県2.5、 市17.5 |
| 37 | 勝連城跡 | うるま市 | うるま市教育委員会 | 発掘調査 資料整理 | 9,639 | 国80、県3、 市17 |
| 38 | 糸数城跡 | 南城市 | 南城市教育委員会 | 発掘調査 資料整理 | 7,734 | 国80、市20 |
| 39 | 玉城城跡 | 南城市 | 南城市教育委員会 | 発掘調査 資料整理 | 10,604 | 国80、市20 |
| 40 | 知念城跡 | 南城市 | 南城市教育委員会 | 発掘調査 資料整理 | 7,174 | 国80、市20 |
| 41 | 今帰仁城跡附シイナ城跡 | 今帰仁村 | 今帰仁村教育委員会 | 発掘調査 資料整理 | 65,000 | 国80、県3.4、 村16.6 |
| 42 | 中城城跡 | 中城村 | 中城村教育委員会 | 発掘調査 資料整理 | 35,005 | 国80、県2.5、 村17.5 |
| 43 | 歴史の道 | 中城村 | 中城村教育委員会 | 発掘調査 資料整理 | 30,005 | 国80、県2.5、 村17.5 |
| 44 | 具志川城跡 | 久米島町 | 久米島博物館 | 発掘調査 資料整理 | 2,754 | 国80、県2.5、 町17.5 |

(9) 事業者(原因者)負担による埋蔵文化財発掘調査一覧

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

| 項目 No. | 遺跡名 | 所在地 | 調査主体 | 原因 | 業務内容 | 経費(千円) | 主な財源 |
|-----------|--------------------|------|-------------|---------|--------------|---------|---------|
| 1 | 箕隅原A遺跡 | 那覇市 | 県立埋蔵文化財センター | 道路建設 | 資料整理 | 8,078 | 内閣府 |
| 2 | 宮元元島上方古墓群 | 宮古島市 | 県立埋蔵文化財センター | 道路建設 | 資料整理 | 514 | 沖縄県 |
| 3 | 普天間古集落遺跡ほか1遺跡 | 宜野湾市 | 県立埋蔵文化財センター | 海軍病院建設 | 発掘調査 資料整理 | 144,430 | 沖縄防衛局 |
| 4 | 白保竿根田原洞穴遺跡 | 石垣市 | 県立埋蔵文化財センター | 新石垣空港建設 | 発掘調査 | 63,597 | 沖縄県 |
| 5 | 喜田盛遺跡 | 石垣市 | 県立埋蔵文化財センター | 道路建設 | 発掘調査 資料整理 | 6,169 | 沖縄県 |
| 6 | 前田・経塚近世古墓群 | 那覇市 | 那覇市教育委員会 | 道路建設 | 発掘調査 資料整理 | 39,696 | 内閣府 |
| 7 | ナイクブ古墓群 | 那覇市 | 那覇市教育委員会 | 公園造成 | 発掘調査 | 8,854 | 国土交通省 |
| 8 | 小禄村跡(屋敷跡) | 那覇市 | 那覇市教育委員会 | 公園造成 | 発掘調査 | 10,558 | 国土交通省 |
| 9 | 小禄村跡(石畳道) | 那覇市 | 那覇市教育委員会 | 公園造成 | 発掘調査 | 2,089 | 国土交通省 |
| 10 | 崎山古墓群 | 那覇市 | 那覇市教育委員会 | 公園造成 | 発掘調査 | 997 | 国土交通省 |
| 11 | 真嘉比・古島古墓群 | 那覇市 | 那覇市教育委員会 | 区画整理 | 発掘調査 資料整理 | 76,879 | 那覇市 |
| 12 | 渡地村跡 | 那覇市 | 那覇市教育委員会 | 道路建設 | 資料整理 | 15,983 | 国土交通省 |
| 13 | 名座原A遺跡 | 那覇市 | 那覇市教育委員会 | 自衛隊施設 | 資料整理 | 11,237 | 那覇防衛施設局 |
| 14 | 垣花村跡 | 那覇市 | 那覇市教育委員会 | 下水道整備 | 資料整理 | 2,487 | 在沖米陸軍 |
| 15 | 字大嶺村跡 | 那覇市 | 那覇市教育委員会 | 空港建設 | 資料整理 | 4,776 | 国土交通省 |
| 16 | 箕隅原C遺跡 | 那覇市 | 那覇市教育委員会 | 道路建設 | 資料整理 | 3,097 | 内閣府 |
| 17 | 城岳古墓群 | 那覇市 | 那覇市教育委員会 | 公園造成 | 資料整理 | 7,554 | 国土交通省 |
| 18 | 首里久場川ハタマチュー古墓 | 那覇市 | 那覇市教育委員会 | 住宅 | 資料整理 | 8,805 | 国土交通省 |
| 19 | 首里久場川壕群 | 那覇市 | 那覇市教育委員会 | 住宅 | 資料整理 | 3,199 | 国土交通省 |
| 20 | 普天間下原第二遺跡他3遺跡 | 宜野湾市 | 宜野湾市教育委員会 | 米軍施設 | 発掘調査 資料整理 | 113,686 | 沖縄防衛局 |
| 21 | 登野城遺跡 | 石垣市 | 石垣市教育委員会 | ホテル建設 | 資料整理 | 1,248 | 事業者 |
| 22 | 野底遺跡 | 石垣市 | 石垣市教育委員会 | 宿泊施設 | 資料整理 | 3,799 | 事業者 |
| 23 | 浦添市西海岸の石切場跡港川崎原2地点 | 浦添市 | 浦添市教育委員会 | 道路建設 | 発掘調査 | 1,858 | 内閣府 |
| 24 | 浦添市西海岸の石切場跡港川崎原1地点 | 浦添市 | 浦添市教育委員会 | 道路建設 | 発掘調査 資料整理 | 28,542 | 内閣府 |
| 25 | 勢理客城門原近世墓群 | 浦添市 | 浦添市教育委員会 | 駐車場造成 | 発掘調査 資料整理 | 4,730 | 事業者 |
| 26 | 前田・経塚近世墓群 | 浦添市 | 浦添市教育委員会 | 区画整理 | 発掘調査 資料整理 | 19,888 | 浦添市 |
| 27 | 浦添城跡 | 浦添市 | 浦添市教育委員会 | 公園造成 | 発掘調査 資料整理 | 11,000 | 沖縄県 |
| 28 | 港川崎原古墓群 | 浦添市 | 浦添市教育委員会 | 道路建設 | 資料整理 | 967 | 沖縄県 |

| 項目 No. | 遺 跡 名 | 所在地 | 調 査 主 体 | 原 因 | 業務内容 | 経 費 (千円) | 主な財源 |
|-----------|---------------|------|-------------|-----------|--------------|----------|-------|
| 29 | 当山東原遺跡 | 浦添市 | 浦添市教育委員会 | 道路建設 | 資料整理 | 420 | 浦添市 |
| 30 | 沢岬端川原近世墓群 | 浦添市 | 浦添市教育委員会 | 公園造成 | 資料整理 | 1,382 | 国土交通省 |
| 31 | 前田・経塚近世墓群 | 浦添市 | 浦添市教育委員会 | 道路建設 | 資料整理 | 2,562 | 国土交通省 |
| 32 | 思原遺跡1地区 | 名護市 | 名護市教育委員会 | 米軍施設設 | 資料整理 | 3,849 | 沖縄防衛局 |
| 33 | 楚南部落跡 | うるま市 | うるま市教育委員会 | ゴルフ場 | 資料整理 | 45,542 | 沖縄防衛局 |
| 34 | 東恩納ノロ殿内遺跡 | うるま市 | うるま市教育委員会 | ガス・電気・水道等 | 資料整理 | 24,478 | 沖縄県 |
| 35 | 平敷屋トウバル遺跡 | うるま市 | うるま市教育委員会 | 燃料タンク | 発掘調査 | 36,750 | 沖縄防衛局 |
| 36 | ティーラガマ遺跡 | 南城市 | 南城市教育委員会 | 農業用排水路 | 発掘調査 | 1,429 | 農林水産省 |
| 37 | 安富祖古島遺跡 | 恩納村 | 恩納村教育委員会 | ダム建設 | 発掘調査 資料整理 | 7,325 | 恩納村 |
| 38 | 奥首の交通遺跡群ほか2遺跡 | 金武町 | 金武町教育委員会 | ダム建設 | 資料整理 | 8,807 | 国土交通省 |
| 39 | 平安山原A遺跡 | 北谷町 | 北谷町教育委員会 | 区画整理 | 発掘調査 | 85,785 | 国土交通省 |
| 40 | 平安山原A遺跡 | 北谷町 | 北谷町教育委員会 | 原状回復事業 | 発掘調査 | 20,811 | 沖縄防衛局 |
| 41 | 糸蒲遺跡 | 中城村 | 中城村教育委員会 | 区画整理 | 発掘調査 | 730 | 中城村 |
| 42 | 津嘉山北地区旧日本軍壕群 | 南風原町 | 南風原町教育委員会 | 区画整理 | 資料整理 | 7,235 | 南風原町 |
| 43 | 首里城跡 | 那覇市 | 県立埋蔵文化財センター | 史跡整備 | 発掘調査 資料整理 | 47,850 | 内閣府 |
| 44 | 中城御殿跡 | 那覇市 | 県立埋蔵文化財センター | 県営首里城公園整備 | 発掘調査 資料整理 | 44,170 | 沖縄県 |

(10) 奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター研修への参加者一覧

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

| 項目 No. | 研 修 名 | 期 間 | 参 加 者 | 所 属 |
|-----------|------------------------------|------------------------|-------|-------------|
| 1 | 埋蔵文化財担当者専門研修「保存科学Ⅰ(無機質遺物)課程」 | 平成22年10月6日～ 10月15日 | 菅原 広史 | 浦添市教育委員会 |
| 2 | 埋蔵文化財担当者専門研修「遺跡地図情報課程」 | 平成22年11月16日～ 11月19日 | 知念 政樹 | 那覇市教育委員会 |
| 3 | 埋蔵文化財担当者専門研修「報告書作成課程」 | 平成22年12月9日～ 12月17日 | 金城 貴子 | 県立埋蔵文化財センター |

(11) 鉱業権法第24条の規定に基づく協議

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

| 項目 No. | 出 願 地 | 出 願 番 号 | 鉱種名 | 出願種類 | 回 答 内 容 | |
|-----------|----------|--------------------------------|------------|------|---------|------------------|
| | | | | | 所在埋蔵文化財 | 所在天然記念物等 |
| 1 | 大宜味村 | 20沖経出採第2号 | 石灰石、ドロマイト | 採掘 | メーレー墓 | 地域を定めず指定された天然記念物 |
| 2 | 大宜味村 | 20沖経出採第3号 | 石灰石、ドロマイト | 採掘 | メーレー墓 | 地域を定めず指定された天然記念物 |
| 3 | 大宜味村 | 20沖経出採第4号 | 石灰石、ドロマイト | 採掘 | メーレー墓 | 地域を定めず指定された天然記念物 |
| 4 | 沖縄市、うるま市 | 71琉政出試第28110号 71琉政出試第28111号 | 石油、可燃性天然ガス | 採掘 | 勝連城跡ほか | 地域を定めず指定された天然記念物 |
| 5 | 中城村 | 71琉政出試第25224号 | 石油、可燃性天然ガス | 採掘 | 糸蒲遺跡ほか | 地域を定めず指定された天然記念物 |

| 項目 No. | 出願地 | 出願番号 | 鉱種名 | 出願 種類 | 回答内容 | |
|-----------|------------------|---------------|------------|----------|--------------|------------------|
| | | | | | 所在埋蔵文化財 | 所在天然記念物等 |
| 6 | 中城村 | 71琉政出試第25225号 | 石油、可燃性天然ガス | 採掘 | 糸蒲遺跡ほか | 地域を定めず指定された天然記念物 |
| 7 | 中城村 | 71琉政出試第25227号 | 石油、可燃性天然ガス | 採掘 | 糸蒲遺跡ほか | 地域を定めず指定された天然記念物 |
| 8 | 宜野湾市、浦添市、西原町、中城村 | 71琉政出試第25135号 | 石油、可燃性天然ガス | 採掘 | 我如古後原遺物散布地ほか | 地域を定めず指定された天然記念物 |
| 9 | 那覇市、浦添市、西原町 | 71琉政出試第25133号 | 石油、可燃性天然ガス | 採掘 | ジングスクほか | 地域を定めず指定された天然記念物 |
| 10 | 北中城村、中城村 | 71琉政出試第25096号 | 石油、可燃性天然ガス | 採掘 | 萩堂貝塚 | 地域を定めず指定された天然記念物 |
| 11 | 浦添市、宜野湾市 | 71琉政出試第25183号 | 石油、可燃性天然ガス | 採掘 | 浦添貝塚ほか | 地域を定めず指定された天然記念物 |
| 12 | 北谷町、宜野湾市、北中城村 | 71琉政出試第25097号 | 石油、可燃性天然ガス | 採掘 | 横嵩原遺跡ほか | 地域を定めず指定された天然記念物 |
| 13 | 西原町、中城村、宜野湾市 | 71琉政出試第25198号 | 石油、可燃性天然ガス | 採掘 | 杭地原散布地ほか | 地域を定めず指定された天然記念物 |
| 14 | 宮古島市 | 14沖経出採第19号 | 石灰石 | 採掘 | 高腰城跡ほか | 地域を定めず指定された天然記念物 |
| 15 | うるま市 | 13沖経出採第3号 | 可燃性天然ガス | 採掘 | 宇堅貝塚群ほか | 地域を定めず指定された天然記念物 |
| 16 | 浦添市、西原町、中城村 | 71琉政出試第25134号 | 石油、可燃性天然ガス | 採掘 | 翁長散布地No.1ほか | 地域を定めず指定された天然記念物 |
| 17 | 国頭村 | 20沖経出採第9号 | 石灰石 | 採掘 | 該当なし | 該当なし |
| 18 | 糸満市 | 48沖通出採第45号 | 石灰石 | 採掘 | 上座又殿遺跡ほか | 地域を定めず指定された天然記念物 |

6. 円覚寺跡保存整備事業（文化庁国庫補助事業）

（1）事業の概要

円覚寺は、尚真王が父尚円王の御霊を祀るために 1492 年に建立した臨済宗の総本山であり、第二尚氏王代の菩提寺でもあった。

琉球第一の巨刹で、総門をはじめ、三門、放生池、仏殿、龍淵殿、鐘楼、獅子窟等が昭和 8 年 1 月 23 日に国宝に指定されたが、去る沖縄戦において破壊され、国宝指定は解除された。戦後、総門や放生橋等の一部が復元整備され、公開されているが、それ以外の建造物群等は旧琉球大学運動場整備に伴い、客土による遺構の保護が行われていた。

本史跡は、県営公園の範囲に含まれており、隣接する首里城跡や円覚寺総門、龍潭、円鑑池等の史跡の整備及び公園整備事業（国、県土木建築部）との整合性を図り、その保全と活用・公開等を図るため、国の補助を受けて保存整備事業を実施している。

当該事業は、平成 9 年度から平成 13 年度までの 5 ヶ年計画で整備に先駆けて遺構調査が実施され、調査並びに聞き取り調査の成果に基づいて、平成 14 年度より境内を取り巻く石牆（土留め石積み）の復元整備を実施している。

（2）円覚寺跡整備委員会及び整備指導

| | |
|----------------------------|-------------|
| ①平成 22 年 8 月 3 日（円覚寺跡現場） | 整備指導 |
| ②平成 22 年 10 月 26 日（円覚寺跡現場） | 第 1 回 整備委員会 |
| ③平成 23 年 2 月 8 日（円覚寺跡現場） | 第 2 回 整備委員会 |
| ④平成 23 年 2 月 17 日（円覚寺跡現場） | 整備指導 |

今年度は、主に古写真を詳細に解析し、整備委員会資料を作成した。整備委員会では、石牆の天端の高さ、新規石材や解体の範囲、勾配、規模の検討等を行った。その後、工事中に各委員を招聘し、進捗状況の確認と指導を仰ぎ整備を進めた。

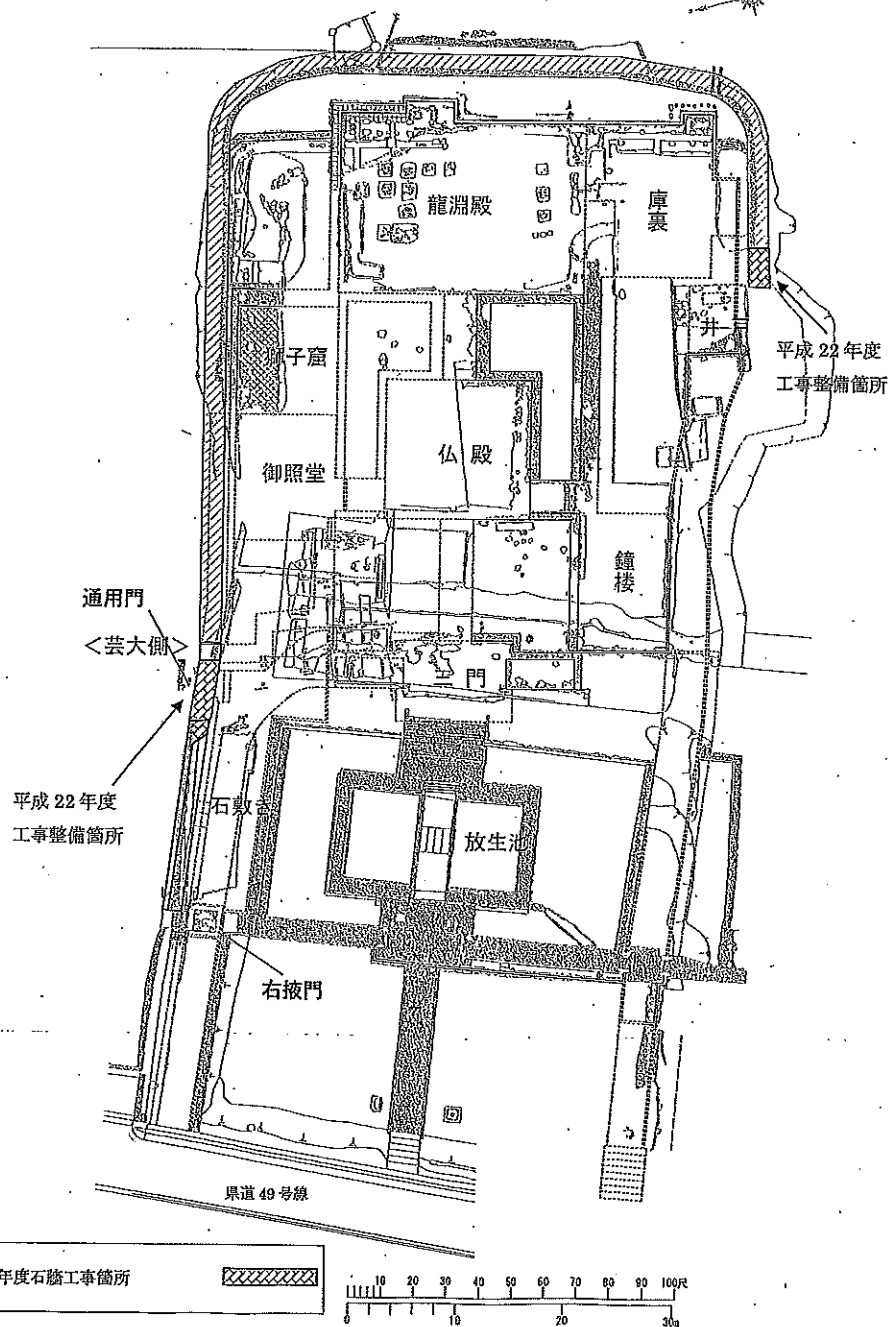
（3）円覚寺跡保存整備事業の事業費並びに事業箇所の推移

(単位：千円)

| 年度 | 事業箇所等 | 事業費 | 国費 | 工事請負費 | 委託料（設計・管理） |
|----------|---|--------|--------|------------------|---|
| 平成 14 年度 | ・石牆（土留め石積み） 修復工事（97.1 m ² ） ・工事用道路の設置 | 35,000 | 27,000 | 28,822.5 | 委託料費 5,617.4 ・設計 4,649.4 ・監理 968 |
| 平成 15 年度 | ・石牆（土留め石積み） 修復工事（48.1 m ² ） | 15,000 | 12,000 | 工事経費 9,681 | 委託料費 4,935 ・設計 3,360 ・監理 1,575 |
| 平成 16 年度 | ・石牆（土留め石積み） 修復工事（28.1 m ² ） ・工事用道路の設置 ・既存石積みの解体 | 15,000 | 12,000 | 工事経費 8,999.55 | 委託料費 5,355 ・設計 3,360 ・監理 1,291.5 ・測量 703.5 |
| 平成 17 年度 | 石牆（土留め石積み） 修復工事（43.0 m ² ） | 15,000 | 12,000 | 工事経費 8,999.55 | 委託料費 5,281.7 ・設計 2,324.7 ・監理 2,259.6 ・測量 697.4 |
| 平成 18 年度 | 石牆（土留め石積み） 修復工事（42.0 m ² ） | 13,500 | 10,800 | 工事経費 8,999.55 | 委託料費 3,525.0 ・設計 1,079.4 ・監理 2,445.6 |
| 平成 19 年度 | 石牆（土留め石積み） 修復工事（30.0 m ² ） | 14,986 | 11,988 | 工事経費 7,001.40 | 委託料費 3,865.0 ・設計 1,575.0 ・監理 1,786.0 ・測量 504.0 |

| 年度 | 事業箇所等 | 事業費 | 国費 | 工事請負費 | 委託料(設計・管理) |
|--------|----------------------------|--------|--------|------------------|---|
| 平成20年度 | 石牆(土留めの石積み) 修復工事(29.4㎡) | 14,407 | 11,525 | 工事経費 6,990.90 | 委託料費 3,705.0 ・設計 1,680.0 ・監理 1,694.7 ・化学測定 330.3 |
| 平成21年度 | 石牆(土留めの石積み) 修復工事(27.0㎡) | 14,340 | 11,472 | 工事経費 6,770.40 | 委託料費 3,771.0 ・設計 1,785.0 ・監理 1,470.0 ・伐採 516.0 |
| 平成22年度 | 石牆(土留めの石積み) 修復工事(44.5㎡) | 17,677 | 14,141 | 工事経費 9,921.45 | 委託料費 3,768.45 ・設計 1,732.50 ・監理 1,695.75 ・年代測定 340.20 |

平成22年度 円覚寺跡保存整備工事箇所



7. ふるさと文化再興事業

(1) 事業の概要

本事業は、地域において守り伝えられてきた祭礼行事、民俗芸能、伝統工芸等の伝統文化を一体的・総合的に保存・活用することで地域の活性化を図る助成事業である。県教育委員会にて策定する「伝統文化総合支援研究実施計画書」(マスタープランと言う)に基づき、地域を定めて支援する「拠点内対象活動」と、支援対象分野を定めて支援する「分野別対象活動」の二つに分野に分けて、実質的な支援を実施する。

この「伝統文化総合支援研究実施計画書」に基づき事業を行う実施団体は、初年度の平成13年度は日本芸術文化振興会に対し申請・実績報告を行ったが、平成22年度は統括団体を通して申請・実績報告の提出を行うが、文化庁と各事業実施団体が委託契約書を結んで事業を実施した。なお、ふるさと文化再興事業は、平成22年度で終了することになった。

(2) 地域伝統文化伝承事業(拠点内対象活動)

ア) 小浜島の盆・結願祭・種子取祭の芸能(民俗芸能)

事業総額：62,880円

実施団体：小浜島民俗芸能保存会

事業内容：用具等の整備(衣装の新調)。

イ) 八重山上布・八重山ミンサー(工芸技術)

事業総額：981,000円

実施団体：石垣市織物事業協同組合

事業内容：用具等の整備(八重山上布・八重山ミンサー用の織機の整備)

ウ) 石垣村の組踊り(民俗芸能)

事業総額：2,032,180円

実施団体：石垣字会

事業内容：用具等の整備(衣装及び道具の整備)。

エ) 登野城の結願祭(民俗芸能)

事業総額：2,656,200円

実施団体：登野城字会

事業内容：映像記録等の作成(結願祭の前日、当日の祭祀儀礼及び過程等を映像で記録)。

オ) 沖縄県の無形文化財

事業総額：363,035円

実施団体：沖縄県無形文化財総合支援事業実行委員会

事業内容：連絡調整事務。拠点地域内対象の団体を統括。
未実施団体・市町村教育委員会への情報提供。

(3) 地域伝統文化伝承事業(分野別対象活動)

ア) 字米須のウシデーク(民俗芸能)

事業総額：903,000円

実施団体：米須ウシデーク保存会

事業内容：映像記録等の作成（ウシデーク^{ウシデーク}の全課程を映像で記録）

イ) 泡瀬の京太郎（民俗芸能）

事業総額：740,906 円

実施団体：泡瀬京太郎保存会

事業内容：伝承者等の養成（保存会伝承者への演技指導、講演会、城内中学生への実技指導等）、用具等の整備（衣装、用具の整備）

ウ) 臼太鼓^{ウスデーク}（民俗芸能）

事業総額：462,000 円

実施団体：世名城ウスデーク保存会

事業内容：伝承者等の養成（教本の作成）

エ) 新城伝統芸能シーヤーマー（民俗芸能）

事業総額：767,000 円

実施団体：新城伝統芸能シーヤーマー保存会

事業内容：伝承者等の養成（若者への実技指導、教本作成）、用具等の整備（用具の整備）

オ) 志多伯豊年祭（獅子加那志年期祭）（民俗芸能）

事業総額：1,632,707 円

実施団体：志多伯伝統文化保存会

事業内容：伝承者等の養成（教本作成）、用具等の整備（衣装、小道具の整備）

カ) 沖縄の無形文化財

事業総額：39,465 円

実施団体：沖縄県地域伝統文化連絡協議会

事業内容：連絡調整事務。分野別対象の団体を統轄。

未実施団体・市町村教育委員会への情報提供。

(5) 平成13年度～平成22年度までの事業費の推移

| | 平成13年度 | 平成14年度 | 平成15年度 | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平成19年度 |
|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|
| 拠点内対象活 | 8,089 千円 | 61,415 千円 | 31,883 千円 | 9,274 千円 | 9,364 千円 | 1,060 千円 | 7,211 千円 |
| 分野別対象活 | 3,714 千円 | 6,764 千円 | 5,854 千円 | 11,694 千円 | 13,549 千円 | 2,003 千円 | 5,804 千円 |
| 合 計 | 11,803 千円 | 68,179 千円 | 37,737 千円 | 20,968 千円 | 22,913 千円 | 3,063 千円 | 13,015 千円 |

| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 合 計 |
|--------|-----------|----------|-----------|------------|
| 拠点内対象活 | 6,718 千円 | 4,313 千円 | 6,095 千円 | 145,422 千円 |
| 分野別対象活 | 3,932 千円 | 5,244 千円 | 4,545 千円 | 63,103 千円 |
| 合 計 | 10,650 千円 | 9,557 千円 | 10,640 千円 | 208,525 千円 |

8. 新たに国の指定になった文化財

(1) 記念物の指定

指定名称：内間御殿（うちまうどうん）

指定種別：史跡

総面積：5,161.88 m²

所在地：中頭郡西原町字嘉手苺上ノ松 42 番 1・50 番・51 番 1・52 番・60 番 2 ほか

所有者：西原町、嘉手苺区自治会ほか 1 名

指定基準：史跡三（祭祀信仰に関する遺跡）

指定する理由：沖縄における祭祀信仰の実態を知る上で極めて重要であるため

〈 解 説 〉

内間御殿は、琉球王朝第二尚氏の始祖、金丸（のちの尚円王）の旧宅跡に創建された神殿を中心とする祭祀施設である。金丸は 1454 年に越来王子（のちの尚泰久）に見いだされ、尚泰久の即位とともに西原間切内間村の領主に任じられ、1470 年に尚円王として即位するまでここに住んだ。

尚円の没後、1660 年代に羽地朝秀（向象賢）の進言により、第二尚氏ゆかりの地として旧宅跡の聖地化が進められ、茅葺の東殿（東江御殿）が建設された。さらに東江御殿の北側に西原間切の住民により茅葺の西殿（西江御殿）が建設された。

第 13 代尚敬王（在位 1713-51）の時代、東江御殿に賊が入ったことを契機に、竹牆を石牆に替え、管理の強化が図られた。また尚敬王撰文による「先王旧宅碑」を建立し、さらに自筆の「致和」の扁額を掲げ、琉球王朝の聖地として完成した。内間御殿は首里王府との祭祀のかかわりが深く、そのいきさつは『西原中山家文書』から窺うことができる。国家的聖地としての整備は、薩摩藩の支配下のなかで衰微した琉球の刷新・復興を推し進めた向象賢や蔡温が活躍した時代と重なっている。

琉球処分後、嘉手苺の人びとは村落共同体の祭祀対象として内間御殿への尊崇を高め、東江、西江両御殿は御殿守の子孫によって再興され、内間御殿は国家的神殿からムラの神殿へと移行していった。沖縄戦により大きな被害を受けながらも琉球王朝時代の石牆が良好に残存し、東江、西江両御殿とも地域住民の自発的な協力により再興された。古写真等により堂宇の状況も知ることが可能である。

以上のように、内間御殿は向象賢や蔡温の時代に歴史的重要性が認識され、国家的聖地として整備し、御殿守や内間ノロ等による祭祀関与、地域住民の自発的な支援や協力により保全されてきた経緯から、国家的聖地の 3 世紀にわたる歴史的系譜を明確にたどることができる。これは、県内の史跡では他に例を見ない際立った特徴である。よって、史跡に指定し、保護を図ろうとするものである。（官報告示：平成 23 年 2 月 7 日付号外第 24 号）



9. 新たに国の登録になった文化財

(1) 建造物の登録

- ① 沖縄市立ふるさと園旧久場家住宅主屋(a)、沖縄市立ふるさと園旧久場家住宅ヒンプン(b)、
沖縄市立ふるさと園旧平田家住宅マチフル(c)

種 別：登録有形文化財(建築物、工作物)

所在の場所：沖縄市胡屋5-831

構造、形式：①主屋：木造平屋建、寄棟造瓦葺

及び大きさ ②ヒンプン：石造、延長 3.6 m

③マチフル：石造、面積 3.6m²

所 有 者：沖縄市

建 築 年 代：主屋とヒンプン、マチフルは、大正13年(1924年)建造。

説 明：①旧久場家住宅主屋は、沖縄市内の登川から移築された住宅で、1924年(大正13年)に建てられた伝統的な琉球民家で、ヒンプンとともに昭和60年に本園内に移築され保存されている。

木造平屋建、寄棟造り赤瓦屋根の本瓦葺き住宅で、敷地の北寄りに南に向かい建ち、桁行き15m、梁間8.3mで、正面から東面にかけて雨端をまわし、一番座、二番座、三番座、東から並ぶ各裏座、台所などからなり、一番座にはトコ、二番座には仏壇を構え、裏座は板敷きで間仕切らない、伝統的平面をもつ沖縄民家。

登録基準2「造形の規範となっているもの」として登録される。

②旧久場家住宅ヒンプンは、1924年(大正13年)に建築され、昭和61年に主屋とともに本園内に移築され保存されている。敷地入口の正面、主屋の南側に位置している。

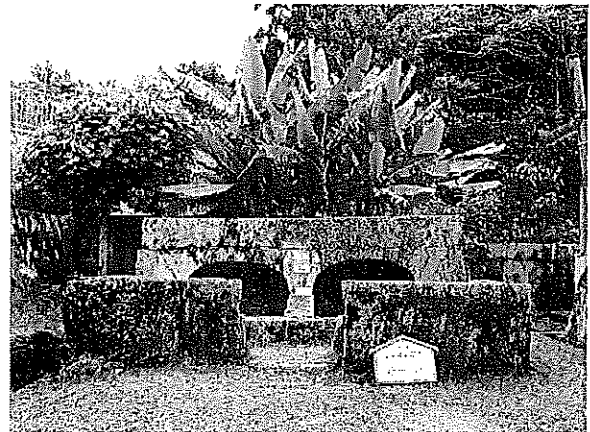
港川産の栗石を比較的大きく切り出した切石布積で、基礎石の上に4段に積み上げ、高さが1.7mで長さが4.6m、厚さ20cmで重厚で石造の典型的なヒンプンであり、沖縄らしい屋敷構えを構成している。

登録基準2「造形の規範となっているもの」として登録される。

③旧平田家住宅マチフルは、1924年(大正13年)に建築され、昭和61年に本園内に移築され保存されている。

琉球石灰岩を用いた石造施設で、東西1.3m、南北2.2mを切石で囲み、北側後寄りに2連のアーチ型屋根をかける豚飼育場で、アーチ屋根上部には植栽を設け、西側に石積みの肥溜め、前方に便所を設けるフルの特徴的な形態を残している。

登録基準2「造形の規範となっているもの」として登録される。



「写真提供：沖縄市立郷土博物館」

10. 新たに県の指定になった文化財

(1) 史跡名勝天然記念物の指定

①「ミヤコサワガニ」

種 別 沖縄県指定史跡名勝天然記念物（天然記念物）
指定年月日 平成22年9月28日
所在地 地域を定めず指定する。

指定の理由

(ア) 基準

沖縄県文化財の指定・認定・選定及び選択基準（昭和52年沖縄県教育委員会告示 第4号）

第6 県指定史跡名勝天然記念物指定基準

3 天然記念物

次に掲げる動物植物及び地質鉱物のうち学術上貴重で、沖縄の自然を記念するもの

(1) 動物

イ 沖縄固有の動物で著名なもの及びその生息地

(イ) 説明

ミヤコサワガニは、宮古島固有のサワガニであり、渡嘉敷島産のオオサワガニに近縁であると考えられている。水中で活動することが多く、夜行性で陸産貝類や水中の有機物を摂食する。サワガニ類は、陸水もしくは陸上のみで生活史を全うし、海水中では生息できない。宮古島はかつて海面下に水没し、その後他の陸地と一度も陸続きにならなかったという説が一般的であるが、本種は宮古島の地史の再検討を促す貴重な生物である。

本種は、琉球列島の地史を検討する上で貴重であり、生息地も限定されその絶滅が危惧されることから、指定して保護する必要がある。

今後の課題として、近年増加の兆しが見られる外来種ヤエヤマシガメにより、稚ガニが捕食される可能性が高いことから、今後外来種対策を検討する必要がある。また、生息地の保全については、ミヤコサワガニの生息場所は数カ所に限られているため、今後も生息場所を良好に保つことが重要である。



写真提供：藤田喜久氏

11. 指定文化財管理

(1) 国指定文化財管理事業

① 事業目的

文化財保護法の規定に基づき指定された重要文化財及び名勝等の維持管理の万全を期する。

② 事業内容

1) 防災設備保守点検等

指定文化財である建物等に設置した自動火災報知設備、消火設備など及びこれらに準ずる防災関係機器の保守点検等

2) 小修理

指定文化財である建物等の維持管理のための小修理

3) 名勝等庭園の荒廃防止及び民家等の環境整備

ア、名勝等に指定された庭園の適正な環境を維持するための除草、剪定、整姿等
イ、指定文化財である民家等の屋敷構え等の適正な環境を維持するために行う除草、剪定等

③ 事業主体

沖縄県

④ 事業の実績

(単位:千円)

| 文化財の種別 | 名 称 | 市町村 | 所 有 者 | 平成22年度 | 合 計 | 備 考 |
|----------|-------|-----|--------|--------|--------|-----------|
| 国指定重要文化財 | 中村家住宅 | 北中城 | 中村国宏 | 352 | 19,161 | (昭55～平22) |
| | 上江洲家住 | 久米島 | 上江洲彌生 | 480 | 16,425 | (昭54～平22) |
| | 喜友名泉 | 宜野湾 | 知念清栄他 | 117 | 1,522 | (平5～平22) |
| | 石垣氏庭園 | 石垣市 | 石垣長敏 | 360 | 2,880 | (平15～平22) |
| | 仲村渠樋川 | 南城市 | 仲村渠財産区 | 156 | 942 | (平17～平22) |
| 合 計 | | | | 1,465 | 40,930 | |

12. 文化財愛護事業（県単独事業：事業総額192千円）

(1)「私たちの文化財」図画作品募集

5月中旬～9月下旬の期間募集し、小学校1・2学年61点(8校)、小学校3・4学年97点(19校)、小学校5・6学年181点(30校)、中学校66点(14校)、高等学校23点(8校)、合計428点(60校)の応募があった。

審査会：平成22年10月8日(金)14時～17時30分 県立武道館 錬成道場

審査員：宮城 守(義務教育課指導主事) 仲間 吉信(県立学校教育課指導主事)

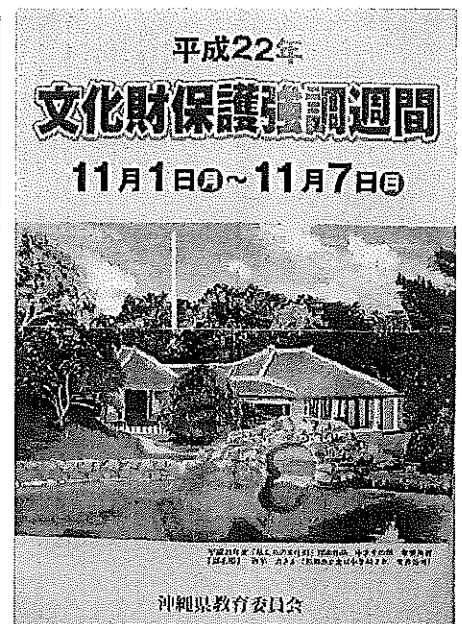
渡久山英雅(総務課主任指導主事) 大城 仁美(県立博物館・美術館主任学芸員)

萩尾 俊章(文化課文化財班班長)

審査結果は下記のとおりで、表彰式を11月2日(火)15時より、県庁舎4階講堂で行い、11月1日(月)～5日(金)の期間、県庁舎1階の県民ホールで全入賞作品75点を展示した。

| 賞 | 小学校1・2年の部 | 小学校3・4年の部 | 小学校5・6年の部 |
|------|--|---|--|
| 最優秀賞 | 上地慶(銘苅小) | 志喜屋翔伍(中原小) | 名嘉村彩花(宜野湾小) |
| 優秀賞 | 上間はる香(沖縄カトリック小) 仲地瑚南(普天間小) | 納山優梨(中原小) 狩俣日菜子(西原小) | 比嘉志緒里(北美小) 志喜屋悠乃(中原小) |
| 佳作 | 眞壁芽生(天願小) 猪谷朋樹(沖縄カトリック小) 宮國美佳(沖縄カトリック小) 佐喜眞愛梨(沖縄カトリック小) | 当銘剛規(高江洲小) 島袋優花(城西小) 町田芽唯(沖縄カトリック小) 新崎莉生(普天間小) | 下地啓仁(沖縄カトリック小) 武島愛莉(普天間小) 西平陽(沢岬小) 瑞慶山幸奈(沢岬小) |
| 入選 | 8名 | 8名 | 13名 |

| 賞 | 中学校の部 | 高等学校の部 |
|------|---|-------------------------------------|
| 最優秀賞 | 我那覇有紀(西原中) 島袋彩(西原中) | 稲嶺和音(開邦) |
| 優秀賞 | 宮城寛知(松城中) 桃原司誉(松城中) 徳田安聡(金城中) | 細田恵満(浦添工業) |
| 佳作 | 仲井間鈴(宮里中) 幸良友希(浦西中) 田中里歩(城北中) 上原康大(金城中) 照屋瑞紀(金城中) 當間千祥(豊見城中) | 比嘉祥子(普天間) 新垣ナオ(開邦) 岩見和香子(那覇西) |
| 入選 | 4名 | 5名 |



(2)平成22年度文化財保護強調週間ポスター

11月1日～7日の文化財保護強調週間の啓発のため、平成21年度「私たちの文化財」図画作品募集中学生の部 最優秀作品「識名園」(西平力さん 受賞当時、那覇市立金城中学校 2年)を原画にポスターを作成し(上図)、市町村教育委員会、学校、文化財関係施設などに配付した。

13. しまくとうば表記検討事業

(1) 事業概要

県教育委員会は、「しまくとうばの日にに関する条例」に基づき、県民のしまくとうばに関する関心と理解を深め、その普及と促進をはかる上で重要な事項について、しまくとうば検討委員会要領（平成20年10月21日）を策定し、それぞれの専門分野に造詣の深い学識経験者から成る委員に調査検討を依頼し、20年度は4回、21年度は5回、22年度は4回の会合（12月23日、1月10日、2月14日、3月17日）を持った。

(2) 委員

狩俣繁久（琉球大学教授）、屋比久浩（琉球大学名誉教授）、大城學（琉球大学教授）
西岡敏（沖縄国際大学準教授）、高良勉（元県立学校教諭）
楚南光子（沖縄県方言普及協議会）

(3) 22年度の検討内容

今年度からは具体的な取り組みとして、「しまくとうば検討委員会報告書」を踏まえ、特に緊急性を要する「普及継承」のために、「しまくとうば」を教え、かつ子どもたちが使えるテキスト（副読本）の作成に向けて、取り組みを進めている。具体的な取り組みを進めるにあたって、作業を円滑に進められるよう委員の大幅な入れ替えを行った。

前年度確認された方針「学校教育に積極的に位置づける、特にカリキュラム化を前提（理想）としてこの取り組みを進める。」から、小学校を低学年（1，2年生）中学年（3，4年生）高学年（5，6年生）に分け、今年度は低学年向けの副読本とその教授資料の企画を開始した。検討にあたって、小学校で用いられている国語、社会、音楽の教科書と英語のワークブック、奄美や沖縄県内の教育機関、研究機関による地域言語についての実践報告書を参考に、以下の柱を立てた。

- ① 低学年（1，2年生）は、しまくとうばと沖縄の文化に親しみ、学ぶ。
- ② 中学年（3，4年生）は、しまくとうばと沖縄の文化について知り、身につける。
- ③ 高学年（5，6年生）は、しまくとうばと沖縄の文化について知り、身につけ、深める。

今後の予定としては、平成23年度に副読本構成の検討を行い、同24年度に内容の検討と執筆を行い、同25年度に副読本の刊行、配布を予定していた。

*本予算事業は、23年度からは新たな文化観光スポーツ部文化振興課に移管した。